モントリオールオリンピック代表決まる

女子「3大陸代表決定戦」出場メンバーも

女子『3大陸代表決定戦』出場チーム

・監督	井　薫	(37才)	日本協会技術委員
・コーチ	鈴木　義男	(42)	日本協会技術委員
・GK	和田　祥子	(24)	山鹿立石電機
・GK	久保　徳子	(23)	ジャスコ
・FP	島田　夏枝	(26)	山鹿立石電機
・FP	古佐原　ひろ子	(25)	東京重機工業
・FP	蔵田　照美	(25)	山鹿立石電機
・FP	山下　恵美子	(23)	山鹿立石電機
・FP	松下　仁美	(21)	ジャスコ
・FP	小森　久里子	(21)	ブラザー工業
・FP	加藤　美起子	(21)	日本ビクター
・FP	穂積　美保子	(20)	日本ビクター
・FP	河田　栄子	(20)	ジャスコ
・FP	紀野　奈々美	(20)	山鹿立石電機


男子・竹野監督


男子・東コーチ


女子・井　監督


女子・鈴木コーチ

男子オリンピック代表チーム

・監督	竹野　奉昭	(39才)	日本協会技術委員
・コーチ	東　嘉伸	(38)	日本協会技術委員
・GK	本田　洋	(29)	大阪イーグルス
・GK	柴田　正章	(23)	本田技研鈴鹿
・FP	木野　実	(30)	湧永薬品
・FP	藤中　憲二	(28)	大同製鋼
・FP	中井　武三	(27)	大同製鋼
・FP	佐藤　要二	(26)	本田技研鈴鹿
・FP	松原　光三	(26)	大同製鋼
・FP	佐々木　健一	(26)	三景
・FP	花輪　博	(26)	大同製鋼
・FP	穂積　豊彦	(24)	湧永薬品
・FP	菊池　悟	(24)	東京12チャンネル
・FP	蒲生　晴明	(22)	中央大学4年

日本協会は、5月23日午後1時から東京渋谷の岸記念体育会館で全国理事会を開き、モントリオール・オリンピック男子代表チームと、6月28日からアメリカ・ミルウォーキー市で行われる女子3大陸代表決定戦への出場メンバーについて、およそ2時間にわたり協議、別掲のようなメンバーを満場一致で承認、事務的な手続きを経て、25日午後2時、体協記者クラブにおいて正式発表した。

史上2度目の男子オリンピックチームは、ミュンヘンオリンピック以降の4年間、各種の国際試合で示された実績をもとに、新旧勢力をミックスした最強メンバー。

初出場を狙う女子チームは、3大陸代表決定戦突破をはたさねばならず、昨冬の世界選手権出場者がそっくり選ばれ即戦力を強く打ち出したベストメンバー。

予選で勝った場合、このチームがそのまま「オリンピックチーム」となるが、鈴木コーチはJOCデレゲーション外となる。

「ハンドボール」

51年6月号（第142号）目次

【表紙写真】日本実業団リーグでいぜん強味を誇る大同製鋼の豪快な攻撃（5月8日対三景、東京体育館）

撮影・山田真市



本田　洋

ほんだ・ひろし、大阪イーグルス（大阪堺工高教諭）、22年3月・大阪生れ、179cm、77K 堺市三国丘中―大阪堺工高―本田技研鈴鹿―日体大、44年2月全日本入り、公式国際試合出場55回(得点1)、44年欧州遠征、45年第7回世界、ミュンヘン五輪、49年第8回世界、50年プレ五輪代表。

☆……日本の生んだ国際級GK、シュートに対するタイミングのとりかたは抜群で、研究熱心なことも定評がある。自軍FPの信頼も厚い。　既婚（二女）



柴田正章

しばた・まさあき　本田技研鈴鹿　28年4月・静岡生れ、185cm、75K、浜松南陽中―浜松南高―法政大、49年1月全日本入り、公式国際試合出場8回、50年プレ五輪代表

☆……法大時代からメキメキ頭角を現したGK。シューターに対する位置どりの巧さは〝天才的〟といわれ、それがビッグゲームになればなるほど冴えるのだから頼母しい。

学生リーグでは、時おり波のあるプレーをみせたが、全日本入りのあとは、慎重さも身についてきた。



木野　実（主将）

きの・みのる　湧永薬品、20年12月・大阪生れ、181cm、76K、大阪旭中―寝屋川高―立教大、41年9月全日本入り、公式国際試合出場65回(212得点)、42年第6回世界、44年欧州遠征、45年第7回世界、ミュンヘン五輪（主将）、49年第8回世界、50年プレ五輪各代表

☆……全日本の第一線に立つこと10年、史上最高の技・心・体揃ったプレイヤーといわれ国際的にも声価は高い。最近は、馬力のおとろえを頭脳的な攻法で補い、配球面でも新境地を開いている。　既婚（一女）

オリンピック代表



藤中憲二

ふじなか・けんじ　大同製鋼　22年11月・山口生れ、178cm、74K、岩国天尾中―岩国工高―日体大、44年2月全日本入り、公式国際試合出場45回（119得点）44年欧州遠征、45年第7回世界、49年第8回世界　50年プレ五輪代表

☆……エースだ。ミュンヘン五輪代表を惜しくも逃して発奮、現代ナンバーワンにのしあがった精神力は絶讃に価する。独得なジャンプショットを武器にした鋭い攻撃力は、外国チームも一目おいている。　既婚



中井武三

なかい・たけぞう　大同製鋼　24年3月・京都生れ、180cm、74K、京都八条中―伏見工高―同志社大、44年2月全日本入り、公式国際試合出場44回(87得点)、44年欧州遠征、45年第7回世界、ミュンヘン五輪、49年第8回世界、50年プレ五輪各代表

☆……ディフェンスの巧さは彼を全日本になくてはならぬ存在としている。情勢判断に秀れ、攻撃でも変化のあるジャンプシュートを駆使して一流の力を示す。最も価値ある選手である。　既婚（一男）



佐藤要二

さとう・ようじ　本田技研鈴鹿　24年10月静岡生れ、180cm、80K、清水六中―清水市商―中央大、47年3月全日本入り、公式国際試合出場27回（112得点）49年第8回世界、50年プレ五輪各代表

☆……学生時代からエネルギッシュな攻撃力は注目されていたが、社会人になっていちだんと迫力を増した。変則フォームから繰り出すシュートは独得なもので、初出場の世界選手権で個人得点2位となり、この実績で「世界選抜軍」にも名を連ねている。



松原光三

まつばら・こおぞう　大同製鋼、24年12月熊本生れ、180cm、72K、熊本出水中―熊本市商―日体大、49年1月全日本入り、公式国際試合出場9回(9得点)、50年プレ五輪代表
☆……速攻日本の中心選手。出足のよさとスピード豊かなカットインシュートの威力は、大いに期待される。
ディフェンスでも、サイドでの守りの巧さは光るものがある。攻防両面で得難い選手だ
既婚（一女）



佐々木健一

ささき・けんいち　三景　25年1月東京生れ、171cm、74K、東京深川五中―明星高―中央大、47年3月全日本入り、公式国際試合出場12回(15得点)、ミュンヘン五輪代表。
☆……歯切れのよいフットワークからの変化攻撃と、ジャンプ力を活かした空間攻撃は抜群。
ミュンヘン五輪代表となった学生トリオの一人、そのあと体調をくずしたが、昨秋あたりからみごとにカムバック、連続出場をとげた。



花輪博

はなわ・ひろし　大同製鋼　25年5月東京生れ、177cm、75K、東京駒沢中―中大附高―中央大、45年4月全日本入り、公式国際試合出場24回(27得点)、49年第8回世界、50年プレ五輪各代表。
☆……6年前に全日本の一員となったが、同タイプの選手が多く、国際舞台には出遅れた
しかし、その間に、オールラウンドプレイヤーとして確固たる位置を築きあげた。華麗で天才的なタイプにみられるが、実際には努力型で、全日本の将来をになう選手だ。

男子モントリオール

穂積豊彦

ほずみ・とよひこ　湧永薬品　27年3月兵庫生れ、180cm、76K　兵庫三田学園中―三田学園高―大阪経大、49年1月全日本入り、公式国際試合出場8回(18得点)、50年プレ五輪代表
☆……学生時代に、すでにその強肩は目にとまっていたが、湧永に参加後、動きの鋭さが加って、すばらしいアタッカーに成長した。
つねに、ひたむきにプレーする姿は、点の辛い球界OBにも高く評価されており、今回の栄光でいっそうの進境が望まれる。



菊池悟

きくち・さとし　東京12チャンネル・ハンドボールクラブ　27年4月岩手生れ、186cm、85K　岩手大付属中―盛岡一高―早稲田大、48年8月全日本入り、公式国際試合出場26回(40得点)、49年第8回世界、50年第6回世界学生、50年プレ五輪各代表。
☆……ファイター。その持ち味がプレーにもそのまま活き迫力では右に出る者がない。ロング攻法に加えて速攻、ポストも切れ味がある。地味なクラブチーム所属だけに桧舞台での燃えかたは一味ちがってくる。



蒲生晴明

がもう・せいめい　中央大4年　29年4月生れ、192cm、88K　東京府中六中―中大付高48年8月全日本入り、公式国際試合出場26回(45得点)、49年第8回世界、50年第6回世界学生、50年プレ五輪各代表。
☆……学生界から唯一人選ばれた。高校時代から逸材といわれ、全日本で最初の190cm台選手。昨年あたりから、プレーに余祐がのぞき豪快味がいちだんと加わった。しかも、いぜん未知の魅力を残し、将来、日本がメダルをとるかどうかは彼の右腕次第とまでいわれる



和　田　祥　子

わだ・しょうこ　山鹿立石電機、27年1月神奈川生れ、167cm、68K　神奈川愛川東中―二俣川高―大崎電気　47年10月全日本入り、公式国際試合出場22回、48年第5回世界　50年第6回世界代表

☆……3年前の初遠征で、外国チームに対しすばらしい強さを発揮、国際舞台での実力を高く買われた。

いちぢ、競技生活を断念しかけたが、井監督の懇望もあって立石に移り、いっそうみがきがかかり、風格もでてきた。



久　保　徳　子

くぼ・とくこ　ジャスコ　27年10月・三重生れ、161cm、58K　三重赤羽中―田村紡　48年7月全日本入り、公式国際試合出場5回、50年第6回世界代表

☆……GK二つの座をめぐる競争は、長く厳しいものであったが、最後は、沈着な判断力が決め手になった。

元来、女子のGKは、地味な存在だが、彼女の場合は、それがいっそう強く、黙々とプレーをつづける。しかし、ここ一番の危機を救った美技は数限りない。



島　田　夏　枝（主将）

しまだ・なつえ　山鹿立石電機、25年5月熊本生れ、163cm、55K　熊本氷川中―大洋デパート、45年12月全日本入り、公式国際試合出場31回（59得点）46年第4回世界　48年第5回世界　50年第6回世界各代表

☆……史上、世界選手権3回出場者は彼女と古佐原だけ。いかに若手時代から嘱望されていたかが判る。

全身バネといった感じで、アタッカーとメーカーの二役をこなせる。最近は巧さと貫録がいっそうついた。

ピック3大陸代表決定戦」代表



古　佐　原　ひ　ろ　子

こさはら・ひろこ　東京重機工業　25年10月福島生れ、153cm、48K　福島原町三中―小高農　45年12月全日本入り、公式国際試合出場31回（89得点）46年第4回世界、48年第5回世界、50年第6回世界各代表

☆……「密蜂」、「旋風」、「稲妻」――いずれも外国のスポーツライターが、彼女にたてまつったニックネームだ。

すばらしいスピードと、精かんなプレーはまさに、その表現どおり。屈指の名選手といえよう。



蔵　田　照　美

くらた・てるみ　山鹿立石電機、26年2月熊本生れ、163cm、55K　熊本松橋西部中―菊池農高―大洋デパート、45年12月全日本入り公式国際試合出場23回（52得点）、48年第5回50年第6回世界各代表

☆……早くから、日本のエースに成長が期待されていた逸材。重量感のあるプレーで、着実な歩みをとげてきた。

国際キャリアを得るにしたがって、切れ味が加わるようになり、スケールを大きくしている。日本躍進のカギを握る。



山　下　恵　美　子

やました・えみこ　山鹿立石電機、28年2月熊本生れ、160cm、58K　熊本本町中―天草農高―大洋デパート　48年7月全日本入り、公式国際試合出場23回(16得点)、48年第5回世界、50年第6回世界各代表

☆……攻守ともにソツのないバイ・プレイヤー。攻撃では速攻・ポスト両面をこなす。彼女のようなタイプの選手がナショナルチームには絶対に必要だ。

局面の判断力に秀れているし、リードオフの力も充分にある。



松　下　仁　美

まつした・ひとみ　ジャスコ、29年6月香川生れ、163cm、61K、香川大川中―三本松高―田村紡、49年10月全日本入り、公式国際試合出場13回(35得点)、50年第6回世界代表

☆…急成長した選手、初出場の世界選手権で個人得点3位になったのだからすごい。

フットワークを活かした絶妙のシュート力は、すでに〝完成品〟といえ、今後は、いかに迫力を増すかだ。

外国チームのマーク必至だけに、どう乗り切るか、努力が期待される。



小　森　久　里　子

こもり・くりこ　ブラザー工業、29年10月長崎生れ、166cm、62K、長崎花園中―佐世保商高、50年7月全日本入り、公式国際試合初出場。

☆…全日本入りして1年足らずで晴れの代表になったラッキー・ガール。

しかし、実力は充分で下手投げからの攻撃力は全日本のオフェンスを一段厚くさえした印象である。いきなりの大舞台でキャリアに不安はあるが一発が決まれば、波にのっての活躍を望める。



加　藤　美　起　子

かとう・みきこ　日本ビクター　29年11月宮城生れ、164cm、62K、宮城涌谷中―涌谷高49年10月全日本入り、公式国際試合出場10回(13得点)50年第6回世界代表

☆…すばらしい出足を活かしての速攻は全日本に欠かせない。

果敢なプレーで、しばしば味方の沈滞した局面の突破口を開いており、この持ち味がオールラウンドに発揮できるようになれば、ロングシュートもあり主柱になれる。

女子「モントリオールオリン



穂　積　美　保　子

ほずみ・みほこ　日本ビクター、30年9月宮城生れ、167cm、68K、宮城小牛田中―涌谷高49年10月全日本入り、公式国際試合出場9回(7得点)、50年第6回世界代表

☆…スケールの大きさでは、若手ナンバーワンだろう。

まだまだ、自分で持ちこむという積極さに乏しいが、なにか一つのキッカケをつかめばすばらしいアタッカーになれよう。

思い切ってのプレーが全日本の飛躍にもつながってくる。



河　田　栄　子

かわだ・えいこ　ジャスコ、30年9月・岡山生れ、167cm、71K、広島五日市中―山陽女高―田村紡、49年10月全日本入り、公式国際試合出場10回(13得点)、50年第6回世界代表

☆…オールラウンドプレイヤーとして将来が期待されている。

試合の流れの見極めが巧く、それがアタッカー、アシストの両面をこなし、出足のよいディフェンスに表れる。

昨春からの国際経験で、すべてに一まわり大きくなった感じだ。



紀　野　奈　々　美

きの・ななみ　山鹿立石電機、30年12月・大分生れ、165cm、64K、大分佐賀関中―大分東高、49年10月全日本入り、公式国際試合出場9回(12得点)、50年第6回世界代表

☆…高校時代から破壊力のある攻撃が注目されていた。

社会人になってからは、左右両利きを活かしたポストプレイヤーとして注目をあびている。このまま成長すれば「大型ポストプレイヤー」として女子界に新しい流れを呼ぶことができよう。

男女代表決定の経過

男子モントリオール・オリンピック代表選手(12名)と女子3大陸代表決定戦出場選手(12名)の選考は、本誌既報の予定が一部変更され、最終的には、5月17日東京で開かれた3部合同会議が、原案作成の場(非公開)となり、そのあと、5月23日の常務理事会を経て、全国理事会の承認を得るという手順になった。

本誌印刷直前の25日、編集委では荒川理事長、男女コーチングスタッフなどの談話を集めて、選考の経過をたどり速報とした。

原案作成に5時間の論議

4年前のミュンヘン代表決定の時は、幾重にも選考の目が重ねられ、いかにも史上初の重要事項決定といった感じをうけたが、さすがに今回は余裕がのぞき、通常の世界選手権派遣とさしてかわらず荒川理事長も、3部合同会議へ陪席の予定をとりやめて静観。

とはいっても、オリンピック参加ともなれば、巷間の耳目は、平生とは比べものにならぬほど強まるし、JOC（日本オリンピック委員会）からの人数配分もあって17日の会議は、5時間を越す論議となっている。結果的には、男女ともコーチングスタッフの提案が無修正で通過したかたちである。

カギ握る中堅と若手

男子は、アジア予選（3月台北4月イスラエル）のメンバーから村田(三景)、GK斉藤将（秋田県庁）の二人が脱けた。不運というよりほかはない。

16人の候補選手が10の座を争ったFPは、柱となる選手に藤中、木野、中井、佐藤がまず決まったようで、残り6人については、コーチングスタッフもかなり苦慮。

各選手とも個性豊か、有力な武器を持ち、どう組み合わせても「最強」のレッテルを帖れる布陣が編成できる。

結局、決め手となったのは、どのような局面でも突進できる攻撃力と、ディフェンスの強さだ。このため、もっとも意外性のあるプレイヤーとして定評が高く、空間攻撃の要員にもあげられていた村田がふるい落とされ、「左腕なしのナショナルチームは考えられない」としたこれまでの路線が〃変更〃されるところとなった。

竹野監督が、日本の宿願成るかのカギを握っているとみているのは菊池、蒲生、穂積、佐々木。この4人に、オールラウンドの花輪松原をからませてある局面を乗り切ることさえ考えている。

木野ら4人は、国際的評価が高く、相手のマークを受けることは必至で、特に藤中、佐藤の攻撃力封じは、日本対策の重要ポイントとしてノートされているからだ。

3人のつばぜり合いだったGKはベテラン本田、新鋭柴田のプレオリンピックコンビ。

本田の精神力の強さは、GKとしても、全日本の一員としてもいぜん欠かせない。

下里（元大崎電気）退陣後、後続と断層が生じたが、それをみごとに埋めたのが柴田だ。

法大時代から勝負強さには定評があり、キーピングでは本田をしのぐところまで来ている。

村田のほかミュンヘン代表のベテラン飯田(大崎電気)、左腕・斉藤幸（大崎電気）、大型GK斉藤将らが紙一重で涙をのみ、津川（湧永薬品）、平野（海上下総）、柳川（大同製鋼）らも、今後への期待と希望を抱かせて今回は見送りとなった。

激しかったGKの座 ｜女子｜

女子は、4月合宿直前、本誌既報のとおり15人のFP候補のうち4人が負傷などで自から代表の夢を断念するというアクシデントがあり残り11人のなかから左腕・大場（大崎電気）がはずれるという〃悲劇〃につながってしまった。

井監督らコーチングスタッフや渡辺(慶)技術部長は「あの時点では、いかんともしがたかった」というが、ショックはかくせず、今後の女子候補選手のリストアップに課題を残すこととなった。

メンバーは、小森以外はいずれも昨春のアジア予選、昨冬の世界選手権出場者で、立石勢5人を一応の柱に、単独チーム同ようのまとまりをみせており、活躍が期待できる。

小森は、ブラザーの生んだ最初の海外派遣代表で、一足とびにオリンピックへの道を歩む。恵れた体格と変則投法を活かした破壊力のある攻撃で、〃初舞台〃でも、かなりやれそう。

二倍の狭き門となったGKは、対ヨーロッパ勢の実績から和田と久保に落ち着いた。

それにしても、小原（大洋デパート）、北岡（中京女大）ら名手が相次いで退陣したあとの競争は激しいものがあった。

役員は、5月23日の月例常務理事会で原案がねられ、JOCからの配分3名を男2、女1と決めたいちぢ、役員1（総監督）として、残り2を男女各選手1名増という案があったが、オーソドックスな線に落ちついたもの。

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

女子五輪・3大陸代表決定戦

日本慎しむべき"軽視"

日本のオリンピック"カップル出場"をかけた女子・3大陸代表決定戦は6月28日から7月4日迄アメリカ・ウイスコンシン州ミルウォーキー市の「ホワイト・フィッシュベイ高校」体育館で日本(アジア)、アメリカ(アメリカ)チュニジア(アフリカ)の3カ国が参加して行われる。競技法式は2回総当り。

◇

日本協会の周辺は、すでに男女出場が決まったようなムード。顔合せするアメリカ、チュニジアとは、半年前の第6回世界選手権で対戦、日本が17―10、26―10(=本誌138号参照)で勝っているからだ。

相手の実力が判らず、不安なままアジア予選を迎えた男子に比べればたしかに有望である。

警戒しなければならないのはアメリカ。体格では、日本よりはるかに秀れ、世界選手権でも日本戦は、前半1点差である。バスケットボールを手がけた選手が多く、パスワークは、独得なものがあり、世界選手権後北欧遠征などで腕をみがいているのも見逃せない。

昨秋のプレ・オリンピック(へ特別試合)で、アメリカ女子を観ている日本協会・荒川理事長は「上背があるだけに、ハンドボール技術が身についたら手強い。うかうかすると日本は打倒ヨーロッパの先陣争いをアメリカに奪われるかもしれない」といっているほどだ。

しかも、今回はホームコートの利が加わる。

チュニジアにしても、勝算がまったくゼロなら、アメリカ大陸まで足をのばしては来まい。

日本が、目先にちらつく"モントリオール代表の栄光"ばかりに気をとられていると、思わぬおとし穴にはまりこむ危険がないわけではない。

データにたよっての軽視は禁物で、慎重な準備のもとにミルウォーキー入りすることが望まれる。

会場は、高校の体育館とはいえタータンフロアでスタンドは観客四千人を収容する立派なもの。

当初、この予選会はワシントンで開かれると伝えられていたが、急きょ変更になった。審判は、アイスランドペアとシュルツ兄弟(カナダ)が予定されている。

日本チームは、6月21日午後4時55分羽田国際空港出発の計画で代表権を得た場合はそのままモントリオール入りする。(S)

(別掲の両国メンバー表のうち○内数字は、昨冬の第6回世界選手権における通算得点。氏名横の数字は身長・cm)

【アメリカ予想メンバー】

K	トダロ	163	・
	シエフツ	173	・
F	ミラー	183	②
	クラントン	181	③
	ワシントン	180	③
	フオレスト	179	⑳
	マック・ラエ	173	・
	リンドセイ	171	②
	ハーレ	172	⑤
	ドワイト	168	③
	ジェラード	172	・
	ホルムス	168	・
	リリス	165	④

【チュニジア予想メンバー】

K	エスチエイク	160	・
	オムラーヌ	170	・
F	サイビ	172	④
	スマドチ	160	④
	クケリイル	160	・
	ベン・ムラト	159	④
	ザラア	163	・
	マリマネ	163	⑥
	グッサニ	161	⑬
	カムマミ	162	④
	クハマッシ	170	③
	ムラト	156	②
	ザジヤニ	173	・
	ヤブベス	168	・

○……日　程……○

▽6月28日　アメリカ×チュニジア▽29日　日本×チュニジア▽30日　日本×アメリカ=以上第1次リーグ　▽7月1日試合なし　▽2日　チュニジア×アメリカ　▽3日　日本×チュニジア　▽4日　日本×アメリカ=以上第2次リーグ。

男子選手団、7月8日出発

モントリオール・オリンピック男子ハンドボールアジア代表となった日本チームは、7月8日午前7時50分羽田発のJOC(日本オリンピック委員会)第1便の日航特別機で出発する。

本番前に女子の前哨戦

日本協会は、オリンピック出場前のトライアルゲームについて検討していたが、7月10、11日トロント市(モントリオールから約570km)の強豪ノースメン・HCから受けていた招待試合への参加は現地到着翌日のためとりやめにすることを決めた。

女子は、出場が決まればモントリオール市で、東ドイツとテストマッチが内定している。

日ソ交流、今年も断念

日本体協からこのほど日本協会へ伝えられた連絡によると、日本協会が要望していた今年度内の「日ソ交流」は、ソ連スポーツ委員会から正式にことわりの手紙(3月24日付)が寄せられた。

日本協会では、4月の月例常務理事会でやむを得ないとしたものの、来年度以降の実現を交渉することとした。この結果、日本協会が今秋に計画していた国際試合の交流会が確定NHK杯国際試合も昨年につづき休会の色が濃くなった

◎全日本女子チームを送る

女子界の宿願実り感無量

間瀬勝子
(旧姓・沢田、世界選手権初参加(昭37)時の全日本主将。当時愛知紡績所属。愛知県半田市在住)

女子のハンドボールが、オリンピックに採用されたことを新聞で読み、さぞかし、関係者の皆さまや選手のかたがたは喜んでいられると思います。

私たちの頃〜もう14年も前の話になってしまいましたが〜世界選手権に初参加するということでさえ、どれだけ励みになり、目標になったかは、今、想い出しても、当時の張り切った気持ちが甦えるほどです。

それが、オリンピックという夢にまでみた栄光の舞台で活躍できる日が近づいたのですから、私たちでさえ感無量になります。

このチャンスに、現役でプレーし、全日本の一員に選ばれているかたがたは、本当に幸福だと思います。

ちょっぴり、羨しい気持ちさえおこります。

もう15年遅く生まれていたら私も、などと思ったり……。

私たちが、初めてルーマニアで行われた第2回世界選手権に出場した時は、何も判らぬうちに幕があき、そして終ってしまったようなものでした。

大柄な外国選手に、頭上からシュートを投げこまれ、攻撃では、どんなにフットワークを利かせても、相手の長い腕の中に入ってしまい、切り崩せませんでした。

それ以後、何回かの世界選手権出場で、日本の国際的な実力もかなり高まったようですが、やはり体格差は、どうしようもない壁になっている感じをうけます。

日本人のもつ俊敏さをフルに活かせれば、と私たちが帰国してから反省もし、次への課題として残したことが、いぜん横たわっているのでしょうか。

オリンピックの前に、予選の関門を通らなければならぬ、ということですが、日頃の実力を存分に発揮され、男子とともに是非晴れの出場を遂げられるようお祈りしています。

内外ともにハンドボール界は成長していることと思いますが、まだまだ、この競技はバレーボールやサッカーなどに比べると知られていません。5年生になる私の長女に「お母さんは、ハンドボールをやっていたのよ」と云っても、「ハンドボールって?」と問いかえされる状態です。

オリンピックへ参加が果たされれば、ハンドボールの知名度も高まるでしょうし、国内の活気もいっそう強まると思います。

日本女子ハンドボールのオリンピック出場は、あとにつづく高校生、中学生への何よりの励みになるとともに、私たち、いわゆるOGにも無関係ではありません。

ハンドボールに青春をかけたすべての人の代表として、皆さまがその幸運を手放すことなく精いっぱい健斗されることを期待いたしております。

がんばれ、お姉さん

酒谷孝子
(小松市女高 主将・3年 昨年度全日本高校優勝GK)

世界のすべてのスポーツ愛好者が待ちに待ったモントリオール・オリンピックの開幕があと一ケ月に切迫し、関係者は緊張と期待感でいっぱいだろうと思いますが、私たち、ハンドボール・ウーマンにとって、今度のオリンピックは誇張した表現にとられるかも知れませんが、本当に嬉しい画期的な名誉ある大会です。

なぜならば、日本におけるハンドボール競技が、マイナースポーツとして悲哀を浴びた過去の苦しい過程を監督の谷口俊春先生から聞いていただけに、でも、もう今日からは大きく胸を張って、今日まで以上にハンドボールを愛し、ハンドボールを通していろんな学習を続けて行けるからです。

更にその上の感激は、その名誉ある大会に全日本のお姉さんたちが出場されることです。すでに決定されている男子チームや、他の種目と違って、本番前に大変困難な、スケジュールでの「三大陸予選」が待っていることも、敵地での試合のことも、すべて谷口先生から詳細に聞いています。でも、私たちは国体や全日本総合に出場させてもらった時や、実業団リーグを見学させていただいた時に、全日本のお姉さんの雄姿を、全員この目で拝見させていただきました。「三大陸予選」が如何に至難なものであるか…。私たちが昨年高校史上初の二度目の完全優勝をなしとげさせてもらった道よりも何百倍も苦しいことが想像されます。

しかし、私たち全国のハンドボールを愛好する高校生は、お姉さんたちの今日までの幾多の逆境と試練をのり越えられた実績を確信し「三大陸予選」は勿論のこと、栄光あるオリンピックで堂々と活躍されることを期待しています。

昨夏、私は韓国へ遠征させていただきましたが、お姉さんたちは数多くの海外遠征で外国の風土には全くご心配はいらないと思いますが、十分健康にご配慮して悔いのない試合をして来て下さい。

お姉さんたちが、モントリオールでご活躍されていらっしゃる頃私たちはインターハイです。私たちはどれだけできるかわかりませんが、一生けん命精進して、お姉さんたちに一ミリでも接近できるようがんばります。そして、そのことがお姉さんたちを応援する唯一の道と思っています。

最後になりましたが、私たちに大きな期待と夢を与えて下さったお姉さんたちの今日までのご健闘に、心から感謝し、晴れの舞台でのご活躍を再度お祈りして、激励の言葉とさせていただきます。お姉さん、がんばれ、がんばれ。

モントリオール・オリンピック

日本、まずソ連と対戦

男子スケジュール決まる

ＩＨＦ(国際ハンドボール連盟)と、ＭＯＣ（モントリオールオリンピック組織委員会）は、４月22日モントリオールで、男子の全スケジュールを別表のように発表した。

すでに予選リーグの組み分けは４月なかばに決定されていたものだが(＝本誌既報)、日本の対戦順序や会場が明きらかとなった。

予選リーグはいずれも夜間（日本時間では翌日付のあけがた）で日本の序盤２戦は、モントリオール市内エミールジュールナル街にある「クロード・ロビヤールセンター(Ｃ・Ｒ・Ｃ)」で行われる。同会場の収容力は三千六百。

中盤の２戦は、モントリオールから、約165kmはなれたシャーブルック市の「スポーツパレス」（収容力四千四百）が会場。ここは昨秋のプレオリンピックで、日本がカナダと対戦したところ（＝本誌136号参照）。

地元カナダとの最終戦は、予想されたようにカナダ・ハンドボール界の中心地であるケベック（レバル大学球技館、収容力三千八百）で行われる。

モントリオール市から、なんと240kmもはなれている。プレオリンピックで２試合の経験があるが、約２時間バスでゆられた後での試合になる。ちなみに、今大会でもっとも会場が遠いのは、サッカー予選リーグのトロント市で575km。

Ａ組第１ランクは西ドイツ

組み合せは、世界選手権の時と同ように、参加国にランクをつけて決められたが、Ａ組の第１ランクに西ドイツが据えられたのには驚いた。

ヨーロッパ予選で、世界選手権２位の東ドイツを押しのけたことが評価されたものだろうが、西ドイツは、世界選手権では９位だ。

本来なら、ユーゴ（世界選手権３位、ミュンヘンオリンピック優勝）が推せんされるところだろう

ちなみに世界選手権12位の日本は第５ランク。一方のＢ組は、すんなり世界選手権の順位で決まり緒戦でルーマニア（世界選手権１位）とハンガリー（７位）という好カードが組まれることになった

女子はルーマニアと第１戦

女子の正式日程は、「３大陸代表決定戦」の結果待ちだが、「３大陸代表」のランクは、どこが勝っても第５ランクとみるのが順当で、そうなると次のようなスケジュールになるだろう。

①７月20日、対ルーマニア（17時30分、Ｃ・Ｒ・Ｃ）
②22日　対東ドイツ（17時30分。ケベック）
③24日　対ハンガリー（17時30分ケベック）
④26日　対ソ連（17時30分、シャーブルック）
⑤28日　対カナダ（正午、モントリオールＣ・Ｒ・Ｃ）

なお、モントリオール市の「フォーラム」は収容力一万六千という大スポーツホール。

ハンドボールのほか、体操、バレーボール、バスケットボールなどの決勝もここで行われる予定。

ハンドボールがこの会場を使うのは、今のところ、28日の２試合だけといわれる。

注目の新星・デッカルム

さて、いよいよ本番開幕まで47日とせまったが、日本の相手はさすがに手強い感じだ。

編集委では、今シーズンの国際大会や、予選記録をできうる限り集め、各国の陣容を探ってみたがミュンヘン(一九七二、昭47)、第８回世界選手権(一九七四、昭49)両大会の主力が相変らず元気なこと、両大会で中堅、新鋭といわれた選手たちが、大きく成長しているのが目立つ。

前者は、ホルバト、ポポビッチアルスラナジッチ（いずれもユーゴ）、クリモフ（ソ連）、ハンセンヨルゲンセン（デンマーク）などで、クリモフは36才、アルスラナジッチは32才のハズだ。

後者には、ラグティン、イチェンコ(ともにソ連)、ポカルヤク、ミルヤク(ともにユーゴ)、ダル・ニールセン(デンマーク)、スペングラー、ブッヒャー（ともに西ドイツ）などがいる。

ラグティンは昨年の世界学生選手権の得点王だ。また、ミュンヘン大会後、ドクターの称号を得たポポビッチ（ユーゴ）も健在だし負傷でミュンヘンを棒にふったマ

――男子スケジュール――

◇第１日（７月18日）
Ａ・日本――ソ連
（19：00，Ｃ・Ｒ・Ｃ）
Ａ・ユーゴ――カナダ
Ａ・西ドイツ――デンマーク
Ｂ・チェコ――アメリカ
Ｂ・ポーランド――チュニジア
Ｂ・ルーマニア――ハンガリー

◇第２日（７月20日）
Ａ・日本――西ドイツ
（20：30，Ｃ・Ｒ・Ｃ）
Ａ・ユーゴ――デンマーク
Ａ・ソ連――カナダ
Ｂ・ルーマニア――アメリカ
Ｂ・ポーランド――ハンガリー
Ｂ・チェコ――チュニジア

◇第３日（７月22日）
Ａ・日本――デンマーク
（19：00，シャーブルック）
Ａ・ソ連――ユーゴ
Ａ・カナダ――西ドイツ
Ｂ・ポーランド――チェコ
Ｂ・チュニジア――ルーマニア
Ｂ・アメリカ――ハンガリー

◇第４日（７月24日）
Ａ・日本――ユーゴ
（20：30，シャーブルック）
Ａ・デンマーク――カナダ
Ａ・西ドイツ――ソ連
Ｂ・ハンガリー――チュニジア
Ｂ・ルーマニア――チェコ
Ｂ・ポーランド――アメリカ

◇第５日（７月26日）
Ａ・日本――カナダ
（19：00，ケベック）
Ａ・ユーゴ――西ドイツ
Ａ・デンマーク――ソ連
Ｂ・ルーマニア――ポーランド
Ｂ・ハンガリー――チェコ
Ｂ・アメリカ――チュニジア
～以上30試合は予選リーグ～

◇第６日（７月27日Ｃ・Ｒ・Ｃ）
14：00　９・10位決定戦
15：30　７・８位決定戦
19：00　11・12位決定戦
20：30　５・６位決定戦

◇第７日（７月28日フォーラム）
17：00　３・４位決定戦
18：30　決勝戦

(注)・Ａは予選リーグＡ組，Ｂは同Ｂ組。
・Ｃ・Ｒ・Ｃはモントリオール市のクロード・ロビヤール・センターを示す。
・いずれも現地時間

キシモフ（ソ連、31才）も今回はその分を取り戻す活躍を示すだろう。

新進では、なんといってもデッカルム（西ドイツ・22才）。

若返り西ドイツのまさに象徴で193cm、88K。陸上競技で鍛えたバネをフルに使い、初出場の第8回世界選手権で22点（5試合）をたたき出し、一躍、脚光をあびた。

このほか、202センチのチェルニショフ（ソ連）、パビセビッチ、クリボカピッチ（ともにユーゴ）が注目される。

別掲のメンバーは、大きく変わることはないだろうが、各国とも層の厚さは定評があるところで、どのような〝秘密兵器〟を連れて登場するか、興味深いし、ぶきみでもある。

波乱必至のA組

さて、モントリオールでの、全般的な展開はどうなるだろう。

強豪東ドイツが、予選で敗退したのを、プロローグとみて、かってない波乱含みとする専門家が多いようだが、やはり、金メダルを争う〝資格者〟となると、A組ではソ連、ユーゴ、B組ではルーマニア、ハンガリーあたりとみるのが順当なようだ。

したがって、A組第3日のソ連×ユーゴ戦、B組第1日のルーマニア×ハンガリー戦が優勝戦線に大きな影響を及ぼす。

特に、ルーマニアは、ここを乗り切れば、あとは捨て身でくるポーランドを警戒するだけでよさそうだ。

前回銀メダルのチェコは、最近精彩に欠ける。

これに比べてA組は、ソ連×ユーゴ戦ですんなり決まるとは思えない。

西ドイツ、デンマークは、ひとたびペースをつかめば最上位へ躍り出るだけの力があり、日本も各国にとってはうるさい存在だろう

全日本・竹野監督は「A組で5戦全勝はあり得ない」とみているほどだ。

2連勝を狙うユーゴ

思い切って話を進めよう。

ズバリ決勝はユーゴ×ルーマニアか、ソ連×ルーマニアか。

ユーゴは、ミュンヘン以降新旧の交替は比較的巧くいっているようだが、やはり要所はベテランに頼っている。

ソ連は、たくましさでは参加国ずい一とみたいが、どこか不安定だ。試合ぶりに波があるのであるとなれば、こうした緊迫した舞台では、キャリア豊かなユーゴをA組1位とみるのが無難であろう

ユーゴ×ルーマニア。まさに現代最強の王者を決めるにふさわしい対決だ。

前評判はルーマニア

ルーマニアは、ミュンヘンでは3位に甘んじたが、一九七〇、七四年の世界選手権では堂々たる優勝を飾っている。

最大の苦手・東ドイツがつぶれたことで、ルーマニア有力説はいっそう強まった感じだし、日本の関係者も、ルーマニアを推す人が多い。

しかし、ユーゴとしても、ここまで来れば、オリンピック2連勝の金字塔を目指して、あの怒濤のような攻撃と精力的なディフェンスで、ルーマニアの誇る多彩なテクニックと五分の力を示すのではあるまいか。

ルーマニアわずかに有利とみるものの、予断はまったく許さない

オリンピックの舞台には、いつも魔性ともいうべき霧がかかる。

それが、思わぬ波乱をよびおこし、大番狂せを生むのだ。

モントリオール大会のハンドボール競技は、絶対の本命なしといわれるだけに、いっそう、勝利の女神のたぐる糸は、あやしいもつれを見せそうである。

4年にいちどの興奮。まさに、その看板にいつわりはない。【杉山 茂】

A組各国予想メンバー（数字は身長・cm）

【ソ　連】

K	イチェンコ	191
	トミン	189
	コシェルギン	183
F	マキシモフ	186
	リアザノフ	197
	セルツナエフ	
	クラフトソフ	174
	クリモフ	189
	ラグティン	184
	プラホティント	186
	チェルニショフ	202
	チクン	196
	キディヤエフ	175
	フェディユキン	

【西ドイツ】

K	ホフマン	190
	ラウェル	191
	ドッグ	187
F	ハーン	183
	ボッシェル	188
	クレィブリンク	187
	クラマー	190
	スペングラー	181
	ブッヒャー	200
	デッカルム	193
	アーレット	180
	H・ブラント	193
	クルースパイス	195

【デンマーク】

K	ヨルゲンセン	184
	ペイクニク	184
F	ハンセン	195
	ダル・ニールセン	194
	ボック	190
	フラントセン	186
	アンデルセン	187
	ムンカゲル	188
	ラルセン	189
	アンギャルト	188
	E・B・ペターセン	184
	J・ペターセン	180
	パジイ	

【ユーゴスラビア】

K	アルスラナジッチ	189
	ニムス	184
	ゾルコ	189
F	ホルバト	191
	Dr.ポポビッチ	181
	ミルヤク	189
	ラゼノビッチ	194
	クリボカピッチ	
	カラリック	
	パビセビッチ	193
	セルダルジッチ	184
	ポカルヤク	183
	ボヨビッチ	
	ティムコ	

【カナダ】

K	レフェブル	183
	パウアー	186
	デュホルト	193
F	フェルダイス	179
	デゾルモウ	188
	ダウフィン	180
	セント・マルティン	183
	デ・ルゾン	193
	ブランクナウ	
	ヴィエン	186
	ゴルジクック	178
	ランバート	186
	ソルセス	186
	ピーターセン	189

チュニジア順当に

アフリカ大陸予選

男子・オリンピック予選の最後となったアフリカ地域は、第2回アフリカ選手権を兼ねて、4月21日から25日までアルジェで行われた。

その結果、前評判どおりチュニジアが強味をみせて決勝へ進出、代表決定戦ではエジプトの食い下りを許したものの後半、地力を発揮、1点差で勝ち、モントリオール行きを決めた。

チュニジアのオリンピック出場は、ミュンヘンにつづき2度目。

▽3位決定戦

アルジェリア 24（13−8、11−9）17 カメルーン

▽決勝

チュニジア 15（7−8、8−6）14 エジプト

大同製鋼の王座ゆるがず　全日本実業団選手権

国内のトップエイトによる第17回全日本実業団選手権（日本実業団リーグ）は，5月8，9の両日予選リーグ（男・東京，女・名古屋），12，13，14日の3日間決勝及び順位決定リーグ（大阪）という新システムで行われた．

男子は，例年より早い開幕が微妙な作用を及ぼし，各チームとも未調整の印象をまぬがれなかったが，大同製鋼（愛知）が，湧永薬品（大阪）と，史上まれにみる激戦の末，勝って，5年連続5度目の優勝を飾るとともに，4年連続国内タイトル独占の野望へ船出した．

オリンピック（予選）選手の最終選考会を兼ねた女子は，さすがに好内容となり，緊迫したゲームがつづいたが，立石電機（熊本）が，チーム創設3年目で，宿願のビッグタイトルを初めて手中にした．

女子は立石電機が初のビッグタイトル

湧永薬品の粘り及はず

男子

◇予選リーグ（東京体育館）

▽A組

大同製鋼（愛知）28（10―11　18―3）14 日新製鋼呉（広島）

本田技研鈴鹿（三重）34（22―8　12―12）20 三景（東京）

大同製鋼 31（12―6　19―7）13 三景

本田技研鈴鹿 28（15―10　13―9）19 日新製鋼呉

大同製鋼 24（16―6　8―10）16 本田技研鈴鹿

得	【大同】		【本田】	得
0	柳川兄	GK	細野	0
0	倉谷	GK	柴田	0
3	中井	FP	田上	4
10	藤中	FP	佐藤	6
3	花輪	FP	新実	2
3	松原	FP	柳	1
4	柳川弟	FP	長谷川	1
0	北村	FP	金子	1
1	大原	FP	喜井	0
0	野田	FP	高木	0
0	中本	FP	矢野	1
0	清崎	FP	豊岡	0
24（1）		PT		（2）16

三景 23（11―11　12―10）21 日新製鋼呉

【順位】①大同製鋼3戦全勝②本田技研鈴鹿2勝1敗③三景1勝2敗④日新製鋼呉3敗

大崎、三陽商会を逆転

▽B組

湧永薬品（大阪）26（14―9　12―5）9 三菱レイヨン大竹（広島）

大崎電気（埼玉）14（11―6　3―6）12 三陽商会（東京）

湧永薬品 24（11―3　13―4）7 三陽商会

大崎電気 17（9―7　8―5）12 三菱レイヨン大竹

三菱レイヨン大竹 15（5―6　10―5）11 三陽商会

湧永薬品 22（9―5　13―9）14 大崎電気

得	【湧永】		【大崎】	得
0	福井	GK	福本	0
0	今井	GK	原田	0
0	戸田兄	FP	東	2
1	高橋	FP	大熊	2
0	森	FP	飯田	4
5	穂積	FP	佐藤	2
5	木野	FP	井手	0
2	津川	FP	橋本	0
1	松本	FP	前渕	2
1	藤本	FP	坂口	2
5	山本	FP	新田	0
2	戸田弟	FP	椿原	0
22（2）		PT（審・勝、大塚）		（2）14

【順位】①湧永薬品3戦全勝②大崎電気2勝1敗③三菱レイヨン大竹1勝2敗④三陽商会3敗

▼予選リーグ個人得点5傑①佐藤（本田）22②穂積（湧永）・村田（三景）21④大江（三菱）19⑤藤中（大同）18

○……注目のA組は，大同がいぜん抜群の力を示した。

本田戦は後半5分まで3点差をつけられていたが、そのあと藤中の連続4ゴールであっさり逆転、そのあとは、本田の無気力に乗じて攻めまくった。

本田×三景は、三景が第1GK佐藤を病気で欠いたため、守りに不安が生じ、攻撃面でもそれが響いて、個人技だけに頼る拙い展開だった。

日新が地味ながらチーム力を上げて来ているのは注目される。

B組では、湧永が充実したところを見せた。

山本（名城）、藤本、戸田弟（ともに中大）の新人トリオが競いあうように好プレーをみせ、穂積、津川、松本らで若々しいチームカラーがでた。

大崎は、後半17分まで三陽のリードを許し、苦しかったが、23分11―11のあと大熊（中大）、飯田のゴールで辛くも決勝進出を決めた

三陽は、この一戦で力をつかいはたしたか、残る二戦は元気がなかった。三菱レも、大江、武田らで善戦したものの、決勝リーグへ進出するにはスケールが小さい。

本田技研、善戦にとどまる

◇決勝リーグ（大阪市中央体育館）

大同製鋼 17（9―6　8―2）8 大崎電気

得	【大同】		【大崎】	得
0	柳川兄	GK	福本	0
0	倉谷	GK	原田	0
2	中井	FP	東	1
2	柳川弟	FP	大熊	3
6	花輪	FP	佐藤	0
2	松原	FP	前渕	2
2	大原	FP	新田	0
1	藤中	FP	井手	0
1	中本	FP	坂口	0
0	清崎	FP	橋本	0
0	北村	FP	飯田	2
1	野田	FP	椿原	0
17（1）		PT（審・吉田、福井）		（1）8

○……大同の地力勝ちだった。スタート直後の1分、大同は中井が右45度の位置から豪快なジャンプシュートを決めてあっさり先制した。しかしその後はパスコントロールの乱れや、藤中、花輪らのポイントゲッターにいつものプレーの切れ味がなくリズムに乗れない

一方の大崎も、試合前は大同を倒そうと大いに意気込んでいたがゲームが始まると選手が委縮してしまいプレーがちぐはぐ。ポジションチェンジもなく、攻撃の糸口がつかめない。単発的に飯田がジャンプシュートを試みるが、大同の厚いディフェンスに簡単に防がれてしまった。

0―1のこう着状態で迎えた10分過ぎ、大同がやっと本来の力を取り戻してきた。まず花輪が右サイドから倒れ込みシュートで2点目を決めると、せきを切ったように11分松原がパスカットから速攻を、12分にも松原が右ポストプレーから加点し、一気に点差を開いてしまった。13、16分と大崎に2点を返されると、今度は17分花輪が鮮かな速攻をみせて大崎を突き放し、その後も柳川弟のシュートなどで前半にして8―2と勝負の大勢を決めてしまった。

後半に入っても大同は攻撃の手を緩めず、中井、藤中の好リードから着々と得点を重ね、17―8で快勝した。

大崎はベテランGK福本が再三再四、大同の強シュートを防ぐファインプレーをみせ、一人気を吐いた。

（小山敏昭・共同通信社（大阪）運動部）

福本、往時しのばす好技

□……大崎の超ベテランGK福本（37才）が大活躍し、王者大同をびっくりさせた。前半、中井の強烈なシュートを防いだかと思うと、後半は松原の速攻をピタリと止めスタンドからは『全日本でも十分に通じるじゃないか』の声も出るほど。

試合途中で大同・野田が右サイドから打ったシュートがバーに当たり、ゴールなったかどうか微妙なところだったが、レフェリーがゴールの判定を下すと、今度はレフェリーに〝こんな悪い場所でゴールかどうかわかるはずがないよ〃とでも言いたげに、レフェリーのいた左45度の位置の床をドンドンとたたくスタンドプレーまで披露。

試合後、本人はいろいろなプレーについて聞かれ、照れたり、自信をつけたりで『自分でも出来すぎですよ。もう1試合やったらきっとボロが出てきますよ』とニガ笑い。

同選手には大会終了後〝特別敢闘賞〃が贈られた。

湧永薬品 19（9－10、10－7）17 本田技研鈴鹿

【湧永】	得	【本田】	得
GK 今井	0	GK 細野	0
GK 福井	0	GK 柴田	0
FP 津川	4	FP 田上	4
穂積	3	佐藤	7
戸田兄	0	喜井	1
戸田弟	5	新実	2
山本	3	柳	1
木野	2	長谷川	0
松本	0	金子	1
森	0	高木	0
高橋	2	矢野	1
藤本	0	豊岡	0
計	19（1） PT （0）17		

（審・梅田、藤本）

○……後半10分過ぎまで8－13と劣勢だった本田は、巧者佐藤を中心に猛反撃に転じた。やや強引とも思える中央突破と変化攻撃で11分田上、14分金子、15分佐藤と着々と点差を詰めていった。そして20分過ぎに佐藤が右から強烈に飛び込んで13－14と1点差に迫り湧永ベンチをあわてさせた。

本田はその後も湧永の新人山本に追加点を決められると、新実がすぐにポストプレーからゲットし、さらに再び湧永・戸田政に入れられると佐藤が押し込んでまったくピタリと食いつき、勝負は後半25分を過ぎても全く予断を許さない展開になった。

試合はそれから両チーム2点ずつを取り、終了直前まで湧永が1点差をつけたまま29分へ――。ここで湧永は試合巧者ぶりをみせて、たくみにPTをさそうプレーから高橋がダメ押し点を取り、2点差をつけてやっとの思いで逃げ切りに成功した。

大苦戦した湧永。開始2分に木野がFTから得意のミドルシュートを決め、さらにその直後にも木野が速攻から2点目を取るなど快調な滑り出し。ところが中盤過ぎからGKと一対一になる絶好のチャンスにシュートをバーやポストに当てたり、イージーミスを繰り返したりでツキもないような感じ。

その上に新人の松本、山本、戸田弟がもうひとつ社会人ペースにかみ合わず、つまらないパスミスが目立ったことなどが本田の猛反撃を許してしまったようだ。

また本田は今までのようにゲーム途中で試合をなげてしまうのではなく最後までがんばった粘りは評価される。今後の日本リーグでこの日の試合ぶりは大きな自信となったにちがいあるまい。

（小山敏昭）

大崎電気、精彩を欠く

本田技研鈴鹿 31（12－7、19－6）13 大崎電気

◇……男　子……◇

	同	湧	本	大	P	得	失
①大同製鋼	…	○	（○）	○	6	55	37
②湧永薬品	●	…	○	（○）	4	54	45
③本田技研	（●）	●	…	○	2	64	56
④大崎電気	●	（●）	●	…	0	35	70

▽ベストセブン（○内受賞回数）
GK　柴田　正章（本田技研鈴鹿）①
FP　藤中　憲二（大同製鋼）⑤
　　中井　武三（大同製鋼）⑤
　　花輪　　博（大同製鋼）②
　　木野　　実（湧永薬品）⑦
　　穂積　豊彦（湧永薬品）②
　　佐藤　要二（本田技研鈴鹿）④

▽最優秀新人
山本　伸二（湧永薬品）

▽個人得点ベストテン（本誌調べ）
①佐藤　要二（本田技研）37
②大江　隆夫（三菱レ大竹）31
③村田　幸男（三　景）30
④田上　敬三（本田技研）28
⑤穂積　豊彦（湧永薬品）27
⑥藤中　憲二（大同製鋼）24
⑦佐々木健一（三　景）22
⑧山本　伸二（湧永薬品）21
⑧新実　俊夫（本田技研）21
⑩花輪　　博（大同製鋼）20
⑩大熊　昌巳（大崎電気）20

▽特別敢闘賞
福本　　弘（大崎電気. GK）

◇……女　子……◇

	立	ビ	ジ	日	P	得	失
①立石電機	…	○	○	（○）	6	33	19
②ビクター	●	…	（△）	○	3	22	19
③ジャスコ	●	（△）	…	○	3	26	24
④日立栃木	（●）	●	●	…	0	16	35

▽ベストセブン（○内受賞回数）
GK　和田　祥子（立石電機）①
FP　蔵田　照美（立石電機）④
　　篠田　享子（立石電機）①
　　加藤美起子（日本ビクター）①
　　小島　和子（日本ビクター）①
　　河田　栄子（ジャスコ）①
　　古佐原ひろ子（東京重機）④

▽最優秀新人
島田さゆり（日立栃木）

▽個人得点ベストテン（本誌調べ）
①蔵田　照美（立石電機）16
①古佐原ひろ子（東京重機）16
③大場　裕子（大崎電気）15
④松下　仁美（ジャスコ）14
⑤鈴木　洋子（ジャスコ）13
⑤佐々木万喜子（ブラザー）15
⑦加藤　美起子（ビクター）12
⑦河田　栄子（ジャスコ）12
⑦鈴木　郁子（ムネカタ）12
⑩小島　和子（ビクター）11
⑩小根沢まり子（日立栃木）11
⑩遠藤　昌子（ムネカタ）11

▽特別敢闘賞
池田二三恵（日本ビクター. FP）

得	【大崎】		【本田】	得
0	福本	GK	細野	0
1	原田	GK	柴田	0
0	飯田	FP	長谷川	3
3	東	FP	柳	0
3	大熊	FP	新実	8
0	新田	FP	喜井	1
5	井手	FP	佐藤	8
0	橋本	FP	田上	8
0	佐藤	FP	金子	1
1	前渕	FP	高木	0
0	椿原	FP	矢野	2
0	坂口	FP	豊岡	0
13	（1）	PT	（0）	31

（審・北岡、井上）

○……本田が前半ものすごいゴールラッシュをかけた。

新実、佐藤らが大崎の甘いディフェンスを突いて、ガンガン強シュートを打ちまくった。

大同戦では大当りした大崎GK福本もさすがにこの強シュートの雨を防ぎきれず、前半20分過ぎで16―4と試合の興味は全くなくなってしまった。

古豪大崎はやはり力が落ちてしまった。プレーイングマネジャーの東を軸にときたま点を取るだけかつては日本の〝大砲〟だった飯田も精彩なく、この試合無得点。とくに前半20分過ぎにはPTまで失敗する仕末で大崎にとっては全くいいところなかった（小山敏昭）

中井、千金の決勝ゴール

得	【湧永】		【大同】	得
0	福井	GK	柳川弟	0
0	今井	GK	倉谷	0
1	高橋	FP	藤中	5
1	木野	FP	中井	1
3	穂積	FP	花輪	3
0	戸田兄	FP	松原	2
2	松本	FP	柳川弟	3
4	山本	FP	野田	0
0	藤本	FP	中本	0
1	戸田弟	FP	北村	0
1	津川	FP	大原	0
0	森	FP	清崎	0
13	（3）	PT	（2）	14

（審・新村、山本）

大同製鋼 14（7―5, 7―8）13 湧永薬品

○……ここ数年タイトルを独占する大同にとって、この試合ほど〝優勝への道〟の険しさを味あわされたことはあるまい。

終了わずか15秒前、大同は中井が本当に貴重な決勝シュートを決めて粘る湧永を下したのだから。しかも29分に出た湧永の速攻が決まっていれば実業団選手権五連覇の偉業は不可能だったかもしれないほど極どいものだ。

逆に言えば、常勝を誇り、いつも他のチームの目標になってきた大同のレベルに湧永が大きく近づいたことを証明するものかもしれない。

試合はシュートの一本一本に歓声が沸く激烈な内容だった。前半は攻撃の幅の広い大同のペース。前半リードオフマン中井、藤中、ポストやサイドをこなす松原、花輪らの好選手が湧永の厚いディフェンスを鋭く崩した。特に7分過ぎ、シュートのとき右手小指を負傷した湧永エース木野の退場のスキを突いて、3―3から一気に5―3と2点差をつけてしまった。

だが後半に入ると湧永は反撃に転じた。7―9の劣勢から9分、速攻をかけて松本が決め、1点差そして12分に山本がPTをゴール右下すみに決めて同点に追い着いた。こうなると追うものの強味。

湧永はたたみかけるように攻撃に出た。大同の焦ったシュートがこぼれ、フォローした湧永GK今井からのロングパスが左サイドを走る山本へ。ところがこのパスは必死に戻る大同にカットされて絶好の勝ち越し機を失ってしまった。

落ち着きを取り戻した大同は15分花輪がPTを決めてまた勝ち越し点を奪い、湧永に先手を与えない。さらに20分過ぎに中井―松原のポストプレー、23分にも松原―柳川弟で得点し13―11と2点差をつけ、湧永の戦意をくじいたかのように思われた。

ところが有望な新人、松本、山本、戸田弟を加えて意気上がる湧永はまたも粘りを発揮した。24分左サイドから穂積が決め、27分には負傷をおして出場する木野が左へ回り込んで決め再度13―13と同点に追いついた。そしてそのまま試合は終了直前までもつれ込み、どちらへ転ぶかわからない展開になっていたのだ。

攻撃中、足を止めてあまりポジションチェンジをしなかった大同の不出来が接戦の原因のひとつにも挙げられようが、それよりも湧永の大善戦が光るゲームだった。軸になる木野が前半で負傷し、大きなハンディをかかえながら他の選手が踏ん張った。後半出場した木野もオフェンスがダメならディフェンスと若手を引っ張り、またチャンスとみると敢然と飛び出して、27分には同点に追いつくシュートを決め、好リードぶりをみせた。また新人山本、藤本らも本田戦とは違って積極的なプレーをみせてチーム全体を盛り上げていた最後は結局大同の底力に屈した感だが、王者をあわやというところまで追いつめた力は本物で、大同もうかうかしていられなくなったようだ。（小山敏昭）

大同製鋼 24―16 本田技研鈴鹿

湧永薬品 22―14 大崎電気

（この2試合は、予選リーグの記録を適用）

大同製鋼・中浜監督の話 全く湧永戦はひやひやものでした。苦戦の原因はオフェンスの足の動きが悪かったこととポジションチェンジがなかったことだと思います今ウチは新旧の交代時期にあるし他のチームの目標でもあったのでリズムを憶えられてしまっているまた新たにリズムを考えていかなければならないでしょう。

三景、5位に終わる

大江、得点王惜しくも逸す

◇5～8位決定リーグ（大阪市中央体育館）

日新製鋼 15（5―6, 10―7）13 三菱レイヨン大竹 呉

得	【三菱】		【日新】	得
0	藤本	GK	三田	0
0	中嶋	GK	佐野	0
0	末広	FP	松木	0
1	善本	FP	村川	2
0	岡村	FP	吹上	3
1	山川	FP	下茂	2
1	岩本	FP	脇若	0
4	大江	FP	大庭	4
3	武田	FP	徳田	4
2	重村	FP	吉田	0
1	大林	FP	湯中	0
0	田中	FP	関本	0
13	(2)	PT	(1)	15

（審・山本、新村）

三景 24（14 10—6 4）10 三陽商会
三景 19（13 6—5 8）13 三菱レイヨン大竹
三陽商会 18（10 8—4 6）10 日新製鋼呉
三景×日新製鋼呉、三菱レイヨン大竹×三陽商会戦は予選リーグの記録を適用

得	【三陽】		【三景】	得
0	吉近	GK	小林	0
0	田村	GK	竹村	0
2	近森	FP	佐々木	7
3	田中	FP	内藤	0
0	小川	FP	村田	5
0	竹村	FP	中馬	3
1	稲木	FP	加藤	3
2	緒方	FP	山村	2
2	石原	FP	川島	4
0	梅屋	FP	武内	0
0	鵜沢	FP	飯島	0
0	岡部	FP	高梨	0
10	(0)	PT	(0)	24

（審・山本、新村）

【順位】⑤三景3戦全勝⑥三菱レイヨン大竹1勝2敗（得失点差マイナス4）⑦日新製鋼呉1勝2敗（マイナス8）⑧三陽商会1勝2敗（マイナス10）

伯仲のジャスコ、ビクター

日立も復調

女子

◇予選リーグ（愛知県体育館）

▽A組

立石電機（熊本）14（10 4—4 2）6 日立栃木（栃木）

得	【日立】		【立石】	得
0	粂谷	GK	和田	0
0	高橋	GK	丸山	0
1	晴山	FP	篠田	2
2	小山	FP	山下	2
0	大岩	FP	平下	1
0	鈴井	FP	紀野	1
0	桜庭	FP	島田	2
0	荒木	FP	蔵田	5
0	山井	FP	池渕	1
1	島田	FP	林	0
0	藤田	FP	田島	0
2	小根沢	FP	実松	0
6	(1)	PT	(5)	14

（審・横井、浅田）

ブラザー工業（愛知）8（6 2—4 2）6 大崎電気（埼玉）
立石電機 14（7 7—4 5）9 大崎電気
日立栃木 12（8 4—5 6）11 ブラザー工業
日立栃木 4（1 3—3 1）4 大崎電気
引き分け
立石電機 16（10 6—3 0）3 ブラザー工業

【順位】①立石電機3戦全勝②日立栃木1勝1分1敗③ブラザー工業1勝2敗④大崎電気1分2敗

▽B組

日本ビクター（茨城）7（3 4—4 3）7 ジャスコ（三重）
引き分け
東京重機（東京）13（6 7—8 5）13 東北ムネカタ（福島）
引き分け
日本ビクター 11（6 5—0 6）6 東北ムネカタ

得	【ジャ】		【日ビ】	得
0	久保	GK	渡辺	0
0	山本	GK	鈴木	0
0	平田	FP	蓮見	1
3	松下	FP	額賀	1
1	林	FP	加藤	2
0	金田	FP	小島	3
2	鈴木	FP	斉藤	0
1	河田	FP	穂積	0
0	笠	FP	染谷	0
0	若田	FP	藤原	0
		FP	永地	0
		FP	池田	0
7	(0)	PT	(3)	7

（審・浅田、横井）

ジャスコ 10（4 6—6 2）8 東京重機
ジャスコ 19（9 10—1 1）2 東北ムネカタ
日本ビクター 13（9 4—3 3）6 東京重機

【順位】①ジャスコ2勝1分（得失点差19）②日本ビクター2勝1分（12）③東京重機1分2敗（マイナス9）④東北ムネカタ1分2敗（マイナス22）

▼予選リーグ個人得点5傑③松下（ジャ）・蔵田（立石）11③加藤（日ビ）・古佐原（重機）10⑤篠田（立石）・小根沢（日立）9

○……優勝争いに響くビクター×ジャスコ戦は波のはげしいせり合い。

ジャスコの出足は好調で10分3—1としたが、そのあとパタリと得点が止まった。

ビクターは15分すぎからリズムにのって、23分蓮見で4—3と逆転した。

後半の立ちあがりは、再びジャスコのペース。鈴木の活躍で4分6—4と先行したが、どうしたことか、ここでまた攻撃がストップ守りの固さでどうにか18分までリードを保っていたが、ビクターに18、21分とPTを決められ引き分けに持ちこまれた。

A組では立石が安定、文句ない試合ぶりをみせた。

有力とみられたブラザーは、日立戦で後半18分まで11—7とリードしながら日立のすばらしい粘りにあって逆転負けした。

日立は18～20分の2分間に相手のミスから3点を奪って調子にのり、24分小根沢で同点のあと、残り5秒新人・島田（明倫高）が劇的な決勝点をあげた。

故障者のつづく重機はやはり苦しく、勝ち星がないままに終った

立石、ビクターを振り切る

◇決勝リーグ（大阪市中央体育館）

立石電機 7（4 3—3 3）6 日本ビクター

得	【日ビ】		【立石】	得
0	渡辺	GK	和田	0
0	鈴木	GK	丸山	0
1	蓮見	FP	蔵田	3
0	額賀	FP	紀野	1
1	加藤	FP	池渕	0
1	小島	FP	篠田	0
0	斉藤	FP	島田	1
1	穂積	FP	山下	2
0	染谷	FP	林	0
0	藤原	FP	平下	0
0	永地	FP	実松	0
2	池田	FP	田島	0
6	(0)	PT	(1)	7

（審・光島、狩野）

○……タイムキーパーが5分も早く終了ホイッスルを鳴らすほど白熱した好ゲームだった。

島田、蔵田という全日本クラスの好選手をそろえる立石。一方ビクターも加藤ら力のある選手を並べ、一歩も譲らない試合が前半から始まった。

先行したのが立石。1分過ぎ山下がうまく決めてリードを奪ったしかしビクターも9分蓮見がゲットしてすぐに1—1の同点。立石が13分過ぎ紀野、蔵田が連続得点すると、ビクターも20分過ぎに加藤が、そして前半終了直前に池田がシュートを放って前半は3—3のタイスコアで勝負は後半に持ち越された。

後半に入っても点の取り合いは変わらず、9分立石がPTのチャンスを蔵田が決めてまたアヘッドすると、11分ビクターも穂積が左からジャンプショートをみせてすぐに4—4。こうした一進一退の緊迫ムードが続くゲームも、レフェリーが試合時間を5分間違えて終了の笛を吹くミスの後からガラリと変わってしまった。

5—5となった後の23分、立石は右ポストにいた蔵田に好パスを通した。ベテラン蔵田はすかさずネット右すみに再度の勝ちゴールを決めた。さらにその直後、ビクターのPT失敗につけ込んで山下が2点差をつける貴重なゴールを決めて、立石は粘るビクターを振り切ったのた。

勝った立石といい、負けたビクターといい、両チーム闘志をぶつけての熱戦に観衆からも惜しみない拍手が贈られていたが、レフェ

リーのミスホイッスルさえなければ、ビクターの反撃の意気は上がっていただけに、試合はもっともつれていたかもしれなかった。（小山敏昭）

ジャスコ 12（6—2 6—3）5 日立栃木

【ジャ】		得
GK	久保	0
GK	山本	0
FP	松下	2
FP	河田	3
FP	鈴木	4
FP	平田	0
FP	金田	1
FP	笠	0
FP	若田	0
FP	林	2

【日立】		得
GK	粂谷	0
GK	高橋	0
FP	鈴井	0
FP	晴山	2
FP	小山	0
FP	大岩	0
FP	桜庭	2
FP	荒木	0
FP	山井	0
FP	小根沢	1
FP	藤田	0
FP	島田	0

（審・藤井 山本）

12（1）PT（0）5

○……真っ黒に日焼けしたジャスコの選手がコートを走りまわった走力、パスワークなどすべての面で日立を上廻るジャスコは、スタートから日立を圧倒し、前半の15分で大勢を決めてしまった。

ジャスコはまず2分、林がゲットして1点目を取ると5分に切り札・松下がPTを、9分にまた林が加点し早くも3—9。さらに松下、鈴木の強シュートで15分過ぎには6—1と〃安全圏〃のリードを奪ってしまった。

後半に入ってもジャスコはスピードに乗った攻撃で、河田の左からのシュート、金田のポストプレーなどで着々と得点を重ね、点差を一方的に広げた。

松下をはじめ全選手の肌の色から新生ジャスコがたっぷり練習を積んで、これからの大会、トーナメントにかける意気がありありとうかがわれたほどだ。

日立はまだ若さが抜け切らないジャスコのスピードについてゆけず、攻撃ではポジションチェンジ相手のディフェンスを崩すかけ引きがない。辛うじて前半に桜庭が2得点、後半に晴山、小根沢がネットを揺がしただけだった。（小山敏昭）

立石電機 12（6—4 6—3）7 ジャスコ

【ジャ】		得
GK	久保	0
GK	山本	0
FP	河田	1
FP	鈴木	2
FP	金田	3
FP	林	0
FP	笠	0
FP	松下	1
FP	平田	0
FP	若田	0

【立石】		得
GK	和田	0
GK	丸山	0
FP	山下	2
FP	蔵田	2
FP	島田	2
FP	篠田	1
FP	池渕	3
FP	紀野	2
FP	平下	0
FP	林	0
FP	実松	0
FP	田島	0

（審・丸岡 光島）

12（0）PT（0）7

○……移籍で話題となった両チームの対決は、〃先輩格〃の立石が快勝し、初の全日本級タイトルを獲得した。

先手をとったのはジャスコ。1分、鍛えられた走力から鮮かな速攻をみせ、最後は金田がバウンドシュートを決めた。しかし、コンビネーションで一歩勝る立石もすぐ反撃に移り、2分逆に速攻をかけて紀野がゲット。3分には今度は島田がパスカットからまた速攻を決めて逆に勝ち越してしまっただが、本当に力の差が出始めたのは10分過ぎに2—2の同点になってから。立石はジャスコGK久保の好守に悩まされながらも11分蔵田が右から決め、14分には篠田が左サイドから飛び込んでGKの頭上を強烈に抜いた。さらに20分過ぎにも山下が切れのいいシュートを二本決めて一気に6—2と優位に立ってしまった。

後半もプレーのひとつひとつに積極さをみせる立石が着実に加点した。3分篠田のシュートのリバウンドを池渕が、7分には島田がポストを決めた。中盤は攻撃がいく分単調になってしまったが、後盤には紀野の速攻、そしてジャスコディフェンスを左に左に引きつけておいて右から島田が飛び込む技能的なプレーをみせて試合を引き締めた。

日立戦ではさんざん走り回ったジャスコだが、巧者立石には走り勝っても遅攻となるとパスをカットされたり、攻撃のパターンを読まれたりでいいところがない。またシュートも正面からのものが多い。もう少しサイドからのシュートも打てるようになったら、さらに面白いゲームになっていただろう。（小山敏昭）

日本ビクター 9（6—2 3—3）5 日立栃木

○……ビクターが貫録をみせた。前半7分穂積が先制すると、小西、額賀がつづけざまに決めて10分で3—0と試合の主導権をつかんでしまった。

【日立】		得
GK	粂谷	0
GK	高橋	0
FP	晴山	0
FP	小根沢	1
FP	鈴井	0
FP	大岩	0
FP	桜庭	1
FP	荒木	0
FP	島田	2
FP	山井	1
FP	大金	0
FP	藤田	0

【日ビ】		得
GK	渡辺	0
GK	鈴木	0
FP	加藤	1
FP	額賀	2
FP	穂積	2
FP	小島	3
FP	斉藤	0
FP	蓮見	1
FP	池田	0
FP	染谷	0
FP	藤原	0
FP	永地	0

（審・幸田 丸岡）

9（2）PT（1）5

日立に2点を返されたが、18分にすかさず額賀がPTを決め、19分にも穂積が加点して優位は動かない。

後半にも日立が点を取るとすぐに取り返すゆとりある試合ぶり点差こそ9—5と少なかったが、楽勝してしまった。予選リーグでジャスコと引き分け、また立石戦であと一歩のところまで迫りながら惜敗して、優勝戦線から遅れを取ってしまったビクターだが、その力は立石、ジャスコと全く変わらない。（小山敏昭）

立石電機 14—6 日立栃木

日本ビクター 7（分）7 ジャスコ

（この2試合は予選リーグの記録を適用）

立石電機・井監督の話　ビッグタイトルはこれが初めてで大変うれしい。ジャスコとの試合は前半に先制点を奪えたから勝てたようです。ベテランの島田と蔵田がよくやってくれました。この優勝で選手も自信をつけてくれたと思います。この優勝を是非大洋デパートにも報告に行きます。

◇5～8位決定リーグ（大阪）

ブラザー工業 11（6—2 5—7）9 東北ムネカタ

大崎電気 14（4—2 10—3）5 東京重機

ブラザー工業 11（7—3 4—8）11 東京重機
引き分け

【重機】		得
GK	佐久間	0
FP	古佐原	3
FP	折口	2
FP	村上	3
FP	鈴木	0
FP	町田	0
FP	横山	3
FP	古谷	0
FP	関	0
FP	寄田	0

【ブ工】		得
GK	山本	0
GK	浅谷	0
FP	岩井	2
FP	山中	2
FP	楠石	0
FP	小森	2
FP	木下	0
FP	宮平	0
FP	国府田	1
FP	佐々木	3
FP	宮本	0
FP	中川	1

（審・丸岡 井上）

11（0）PT（1）11

大崎電気 8（2—3 6—5）8 東北ムネカタ
引き分け

【東北】		得
GK	熱海	0
GK	海村	0
FP	遠藤	2
FP	有賀	1
FP	鈴木郁	4
FP	清水	0
FP	本郷	0
FP	近内	0
FP	鈴木栄	0
FP	藁谷	1
FP	郷	0
FP	平原	0

【大崎】		得
GK	西村	0
GK	中島	0
FP	中村	0
FP	席定	1
FP	長谷川	0
FP	内野	0
FP	大場	4
FP	深堀	3
FP	陽田	0
FP	西	0
FP	工藤	0
FP	吉田	0

（審・望月 光島）

8（2）PT（0）8

ブラザー工業×大崎電気、東北ムネカタ×東京重機戦は予選リーグの記録を適用

【順位】⑤ブラザー工業2勝1分⑥大崎電気1勝1分1敗⑦東北ムネカタ2分1敗（得失点差マイナス2）⑧東京重機2分1敗（マイナス9）









9月4日、東京で開幕か
日本ハンドボールリーグ

日本協会は、今秋発足の「日本ハンドボールリーグ」の準備を進めているが、このほど別掲のように各チームの役員と、運営委員の名簿を発表した。

注目のスケジュールについては本誌既報のとおり、開催地の申請がのびなやみ、本誌〆切り（5月20日）までに、次の日程が明きらかとなっただけで、愛知協会（名古屋）、山口協会、神奈川協会など準備中の分を含めても男女全56試合を消化するには不安が残されており、6月13日に予定される第1回運営委員会のなりゆきに注目が集っている。

（第1週）　9月4日（土）　東京体育館（交渉中）
　　　　　　5日（日）　東京体育館（交渉中）
（第2週）　9月11日（土）　大阪市中央体育館
　　　　　　12日（日）　大阪市中央体育館
（第3週）　9月18日（土）　熊本市体育館
　　　　　　19日（日）　京都府立体育館

なお、男女の第8チーム決定戦は、男子が6月26日呉市体育館、女子が6月上旬大阪で行われることに内定した。

大会運営に新鮮な『演出』を

青木　敬子

9月のスタートを目標に準備が進められている画期的であり、期待の大きい日本リーグ。

オリンピックイヤーと重なってタイミングとしてもぴったりだといわれている。

大阪イーグルスの加盟もあって一段と新鮮味が増した。

あとは、ひとりでも多くの人が試合を見に来てくれることを願うばかりである。

そのためには日本リーグを楽しいムードの大会にし、またそれを定着させていかなければならないと思う。

今までにはなかった新しい面からの楽しさを追求していくことが必要ではないだろうか。

たとえば、ユニホーム一つをとってみても細工の余地はある。

ホームチームかビジターであるかわかるように、はっきり区別したり、背番号でその選手がわかるくらいにしてもいい。

シーズン（年度）ごとに番号を変えるのではなく半永久的なものにすれば、試合内容の他にも楽しみがでてくる。

また、各チームにマスコットを作ってみるのも一つの方法だと思う。例をとると大阪イーグルスなら"鷲"というように、そのチーム独自のマーク入りのユニホームでプレーするなど、ちょっとした工夫で随分変わるハズだ。

そんな所から、選手と観客との連帯感が生まれてくるような気がしてならない。

大会運営をショウアップするという努力がハンドボール界には、まだまだ足りない。

それが「ノン・アマチュア」とみなされるわけではないのだからいろいろな企画を積極的に進めてほしい。

その他に、前にも書いたが、得点王以外の各賞についても、是非検討してもらいたいと思う。

大会を楽しくする——ファンは決してそれを見のがさないはずである。

（本誌編集委員）

6月13日 初運営委　日本協会は、注目の第1回日本リーグ運営委員会を6月13日午前10時から東京で開くことに決めた。この会議で、初代運営委員長ほか役員の互選、日程、事業予算などが決まる。

日本ハンドボール・リーグ加盟チーム及び役員

	チーム名	所属協会	オーナー名	部長名	監督名	運営委員名	
男子	大同製鋼	愛知	金谷正四郎	藤井　浩一	中浜　大輔		
	湧永薬品	大阪	湧永　儀助	村中　明郎	市原　則之	村中　明朗	松井　正敏
	本田技研鈴鹿	三重	岡安健次郎	北村　元勝	細野　秀男	勝田　明	中田　隆一
	大阪イーグルス	大阪	村田　弘	村田　弘	井上　裕人		
	三景	東京	北野喜美雄	田村駿太郎	江名　英彦	江名　英彦	塩田　正弘
	大崎電気	埼玉	渡辺　和美	辻本　正義			
	三陽商会	東京	吉原　信之	高月　英五	近森　克彦	鈴木　一雄	近森　克彦
女子	日本ビクター	茨城	垣木　邦夫	富田　悟	池田　鉄哉	富田　悟	池田　鉄哉
	立石電機	熊本	立石　孝雄	浅野　洸	井　薫	崎山九二夫	井　薫
	ブラザー工業	愛知	平田　源一	早川　一雄	白神　邦雄	早川　一雄	柴田　義彦
	東京重機工業	東京	山岡　憲一	山岡　建夫	近藤　金博	山岡　建夫	村谷　卓保
	大崎電気	埼玉	渡辺　和美	辻元　正義			
	東北ムネカタ	福島	宗形　守敏		田口　侑義	田口　侑義	平川　憲甫
	日立栃木	栃木	権守　博	桑名　照雄	伊藤　宏幸	桑名　照雄	伊藤　宏幸

◇加盟候補チーム（運営委員は準委員となる）

男子	日新製鋼呉	広島	島本　隆視	山本　兼茂	川岡　成徳	山本　兼茂	川岡　成徳
	トヨタ車体	愛知	弓削　努	神谷　忠雄	山田　透	市古　三	稲住　晋二
	神戸製鋼	兵庫	高橋　啓一	杉野　好一	西村　与八	西村　与八	木村　輝夫
女子	ジャスコ	三重	岡田　卓也	伊藤　幸昌	鈴木　義男	鈴木　義男	伊藤　幸昌
	大和銀行	大阪	西村　握美	殿水　幸雄	殿水　幸雄	殿水　幸雄	前野チヨ子

◇日本協会派遣運営委員　徳永陸繁，嶋田新太郎，山田稔，安藤純光，泉　正明

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

全国有力65チーム新陣容

本誌恒例の全国有力チームの新陣容アンケート（編集委・選118チーム、回答69チーム）を特集しました。高校、高専界は前年度優勝校のみ。日本実業団リーグ参加チームは本誌前号をご参照下さい。

（点線の上段は主力選手と身長。下段は主な新人）

◇男子　（ABC順）

青森クラブ（青森）

K小　野　170
F山下猛幸　176
長　村　180
辻　村　175
高　橋　181
三　上　170
鳴　海　171
…………
山上猛美（青森高）

青森教員クラブ（青森）

K山　本　170
F戸　来　168
丸　井　565
山　内　166
堤　165
石　塚　177
須　藤　165
…………
伊　賀（国士館大）

ブリヂストン・タイヤ久留米（福岡）

K原　嶋　182
F嘉　165
牛　島　168
木　下　176
仲　178
秋　吉　175
中　島　172
…………
な　し

ブリヂストン・タイヤ那須（栃木）

K鈴　木　166
F菅　野　175
菊　地　174
大　内　166
柳　路　175
萩　原　170
緑　川　175
…………
な　し

セントラル自動車（神奈川）

K吉　田　175
F加　藤　175
吉　沢　178
仲　田　165
福　田　168
根　本　165
高　木　164
…………
木　村（函館有斗高）
峰　宇（横浜商大附高）

中央大（東京・関東学連）

K小　松　180
F蒲　生　192
関　180
中　村　179
西　窪　177
坪　子　171
金　沢　170
（大林　172）
…………
板　橋（清水高）
植　木（岩国工高）
茂津目（清水商高）
西　川（下松工高）
小　柳（小倉西高）
岩木（熊本市商高）

同志社大（京都・関西学連）

K西　川　180
F古　川　175
金　田　178
浅　沼　177
滝　本　174
堀　田　180
高　杉　178
…………
西　川（岩国高）
大　杉（小倉西高）
竹　本（北陸大谷高）

愛媛大（愛媛・中四国学連）

K山　崎　174
F武　智　163
吉　田　176
中　村　170
曽　根　178
池　田　166
秦　168
…………
横　畠（土佐高）
初　田（長田高）
池　川

福井大（福井・北信越学連）

K瀬　尾　178
F内　田　174
日根野　173
南　口　168
吉　田　172
和　気　172
北　村　178
…………
山本真（若狭高）
多　村（高志高）
野　尻（藤島高）
臼　井

福島SGクラブ（福島）

K石　井　178
F佐　藤　168
遠　藤　180
真　田　166
石　森　178
渡　辺　175
西　坂　175
…………
鈴　木（聖光工高）
寺　島（聖光工高）

氷見クラブ（富山）

K上　野　175
F浦　野　170
森　183
海　下　168
裏　164
石　山　165
殿　畑　165
…………
山　貫（日体大）
中　野（氷見高）

法政大（東京・関東学連）

K植　原　177
F橋　本　170
辻　176
庄　司　172
角　本　183
水　本　187
中　野　174
…………
工　藤（拓大一高）
中　島（桜台高）
高　橋（小岩高）
田　辺（浦和南高）
中　越（小倉西高）
岩　崎（小倉西高）
有　田（東海二高）

自衛隊鹿屋（鹿児島）

K松　岡　180
F下　村　168
山　下　175
埓　172
中水流　172
伊　東　174
斉　藤　176
…………
芝（加治木高）

金沢大（石川・北信越学連）

K酒　井　170
F佐　野　166
桑　原　174
谷内口　171
馬　場　168
池　村　184
杉　原　170
…………
鈴　木（多治見北高）
佐　伯（二水高）
藤　井（二水高）
安　食（彦根東高）
池　野（金沢泉丘高）
金　井（上田高）
早　川（春日部高）
小　島（藤島高）
本　康（刈谷北高）
上　野（富山中部高）

鹿児島教員（鹿児島）

K海江田　173
F平　山　175
川　添　178
田　上　175
尾之上　170
馬場口　171
中　原　170
…………
な　し

近畿大（大阪・関西学連）

K岡　本　177
F夏　原　173
浜　本　175
芝　田　176
西　辻　182
長谷川　172
田　辺　177
…………
吉　田（此花学院）
佐々木（北陽高）
佐　伯（添上高）
山　本（新田高）
河　村（新田高）
高　岡（新田高）
松之内（坂出工高）
黒　川（坂出工高）

九州産業大（福岡・九州学連）

K林　田　174
F満　重　168
金　谷　175
松　田　178
高　木　176
坂　本　170
藤　山　170
…………
高木（岩国工高）
藤山（岩国工高）
井上（三原工高）
岡本（口加高）
豊島（鹿児島工高）
八野（長崎日大高）

神戸製鋼所（兵庫）

K大　谷　182
F笹　野　175
江　口　175
柴　田　165
須　藤　190
山　本　175
山　崎　172
…………
新　家（兵庫工高）

甲南大（兵庫・関西学連）

K藤　岡　177
F辻　村　170
古　谷　178
谷　本　176
阿　武　183
久　森　175
原　田　172
…………
久　保（北須磨高）
渡　口（乙訓高）
岩　瀬（桜塚高）
木　原（鳳高）
田　中（鳳高）
坂　下（春日丘高）

松山商大（愛媛・中四国学連）

K堀　内　172
F木　村　176
増　田　176
武　知　170
清　水　166
住　田　166
鈴　山　170
…………
鈴　山（天城高）
加　藤（琴平高）
亀　谷（宇和島東高）
末　光（宇和商高）
高　原（松山東高）
水　口（新田高）

丸善石油千葉製油所（千葉）

K福　本　178
F松　井　173
川　端　175
昆　野　165
八　木　173
泉　173
石　川　173
…………
な　し

丸善石油下津製油所（和歌山）

K 海端 176
F 刀祢 176
三木 165
辻井 172
松本 177
堤本 176
岸本 167

なし

丸善石油松山製油所（愛媛）

K 塩田 175
F 篠原 180
石川 177
藤本 177
伊藤 175
神野 169
木村 169

なし

三春台クラブ（神奈川）

K 井上 172
F 尾島 170
大山 180
植木一 178
馬渕 180
武藤
松村 169
（植木英 179）

三井石油化学千葉（千葉）

K 渡辺 170
F 田中 172
高重 162
佐藤 172
村井 168
相田 163
中村 175

なし

三菱油化（三重）

K 小林 173
F 市川 170
田島 179
鈴木 170
牛場 175
堀（聡） 178
堀（幸） 168

なし

明治大（東京・関東学連）

K 岡部 183
F 松本勇 172
加納 172
江幡 179
辻 176
鈴木 172
松本茂 177

鈴木（青森高）
松本茂（邑久高）
谷（木更津高）

名城大（愛知・東海学連）

K 木村 173
F 高橋 170
西浜 165
谷元 170
鈴木（康） 176
鈴木（輝） 174
安藤 177

榊原（名南工高）
小林（市立岐阜商高）
山内（一宮工高）
各務（桜台高）
松倉（小杉高）

日本合成ゴム（三重）

K 後藤 180
F 鈴木 172
位田 170
松永 178
山村 179
黒田 175
萩原 168
（永治 178）

田代（中津工高）
田中（香椎工高）
大塚（大分工高）

日本発条（神奈川）

K 清水 178
F 福田 167
伊沢 175
石塚 171
井上 177
北村 172
小野口 168

なし

日本体育大（東京・関東学連）

K 釜谷 176
F 後川 180
半田 180
原田 180
大西 174
三谷 174
池之上 185

泉（岩国工高）
長野（久留米工高）
名嘉（沖縄高）
伊藤（熱田高）
稲見（笠間高）
松井（日体荏原高）
岩本（長野高）
坂本（岩国工高）

大阪府立工高専（大阪・前年度全日本高専選手権優勝校）

K 渡辺 168
F 小田 167
清原 176
中尾 172
仲井 167
〆渡 166
尾野 173

宮川
山下
飛塚
石川

大阪体育大（大阪・関西学連）

K 松岡 187
F 崎野 169
北川 178
能波 181
丸井 165
佐々木 167
西上 175

山口（此花学園）
井上（此花学園）
小林（羽水高）
山下（静岡農高）
藤本（伏見工高）
松森（明石南高）
中東（浪商高）
加藤（大阪工芸高）
大崎（報徳学園）
桐下（二保高）

大阪教員クラブ（大阪）

K 藤井信昭 175
F 久下 175
中村 177
谷口 178
藤田 175
中出 170
池本 178

藤井信明（大阪体大）
池本（大阪体大）

大山商会（大阪）

K 川原 181
F 奥川 175
前島 178
伊藤 178
川村 182
山口 171
福井

なし

岡山教員（岡山）

K 藤原 172
F 佐藤 174
守安 169
森安 172
小林 168
片山 173
瀬島 175

佐藤（中京大）
守安（大阪体大）

琉球大（沖縄・九州学連）

K 大城（伸） 170
F 平田 175
大城（盛） 171
武村 172
高良 169
宜野座 176
上之薗 173

川畑（コザ高）

境港市クラブ（鳥取）

K 松本（吉） 182
F 松本（正） 183
沢本 183
宮辺 176
浜口 173
木下 172
重栖 156

なし

清水高（千葉・前年度全日本高校選手権優勝校）

K 柏倉 173
F 荒金 175
鳥越 175
清水 162
長谷川 170
小野沢 167
山本 172

三代川（鎌ケ谷中）
谷口（福田中）
高松（福田中）
坂本（風早中）
下西（布佐中）
小林（柏中）

静農クラブ（静岡）

K 堀池 178
F 森（光） 165
水野 165
岩科 183
久保田 172
望月 172
片平 172

森（繁）（静農高）
池田（〃）
近藤（〃）

芝浦工業大（東京・関東学連）

K 栗林 180
F 舛屋 186
伊集院 173
千葉 178
三島 179
岩佐 171
木戸 165

岩佐（倉敷工高）
木戸（済々黌高）

新日本製鉄（大分）

K 馬見塚 170
F 岡村 180
吉田 175
得丸 172
南 170
大杉 173
江藤 172

なし

仙台大（宮城・東北学連）

K 一ノ倉 175
F 徳能 177
吉田 173
加藤 171
佐藤雅 177
早坂 178
菊池 183

片山（函館大谷高）
白川（函館大谷高）
佐藤孝（古川高）
黒川（高津高）
三浦（一迫商高）
馬場（三本木高）
桜庭（鰺ケ沢高）
松坂（真室川高）
大野（法政大工高）
上島（名寄農高）
餌取（白樺高）

武田薬品光（山口）

K 清水 170
F 長棟 166
西野 182
末長 174
吉田 171
三宮 166
笹野 166

なし

富山大（富山・北信越学連）

K 足立 176
F 森本 173
小林 178
藤井 176
坂本 170
福田 170
岡嶋 175
（吉見 180）

角地（福野高）
高岡（寒河江高）
竹内（屋代高）

稲球会（東京・旧・稲門ク）

K 北島 178
F 菅野 168
水口 184
木村 168
小西 174
猪飼 166
山田 172

菊池（東京12ch）
水口（早大）
伏見（早大）
北島（早大）
山田（早大）
鶴田（早大学院）

東京重機工業（東京）

K衣笠 174
F青木 168
上野 165
雨宮 168
奥山 168
荒井 172
牛木 172
（千葉 172）

佐藤（湯沢高）

トヨタ車体（愛知）

K遠山 173
F宮松 174
山口 175
松本 169
横尾 178
高橋 163
山田 168

なし

早稲田大（東京・関東学連）

K安田 187
F鈴木 174
泉 174
洞ケ瀬 181
武井 179
北里 170
石川 174

武藤（日川高）
犬飼（東海高）
舟橋（松蔭高）
三浦（早稲田高）

山口大（山口・中四国学連）

K飛良 173
F新見 176
安部 174
長田 180
広瀬 172
松浦 176
川島 172

川上（修道高）
中村（今治西高）
原（諫早高）
山本（下関西高）
則松（小倉高）
鈴木（萩高）
大久保（門司高）
石松（門司高）
掘（鶴見ケ丘高）

◇女子（ABC順）

中京女子大（愛知・東海学連）

K森下 161
F中根 158
久家 158
窪田 159
加藤 164
立川 153
青木

多田（安城高）
鈴木（蒲郡高）
萬野（北陸大谷高）
山田（安城学園付高）
日下部（高山西高）

大和銀行（大阪）

K村井 163
（中尾 162）
F東納 163
岡村 162
宮本 165
富家 168
増永 160
義川 159

中尾（熊本市立高）
増永（熊本市立高）
宮本（新居浜商高）
内海（新居浜商高）
義川（国分実業高）
富屋（鶴見高）
木村（福島女高）
宮地（福島女高）
楊枝（福島女高）
森（淀川女高）

北国銀行（石川）

K西川 160
F千歩 172
木戸 174
中山 160
庄田 161
本田 161
山際 164

千歩
木戸
中山
庄田
本田
西川
（いずれも小松市立女子高）

小松市立女子高（石川・前年度全日本高校選手権優勝校）

K酒谷 164
F小野森 159
西出 155
田中 162
渡内 155
山下 167
八木 155

東出（国府中）
竹本（丸内中）
宮西（御幸中）
池田（松東中）
大西（丸内中）

武庫川女子大（兵庫・関西学連）

K六車 160
F小西 152
佐野 153
福島 160
谷 158
恒川 165
榎崎 172

今井（大谷高）
岡田（大谷高）
坂本（甲子園高）
木下（鶴見商高）
榎崎（精華高）

寝屋川クラブ（大阪）

K細見 160
（榎本 155
F名賀 160
谷垣 154
畑中 158
太田 151
津熊 153
岩本 159

辻（武庫川女大）
三輪（武庫川女大）
沢田（武庫川女大）
和田（鶴見商高）

佐賀クラブ（佐賀）

K中村 158
F岸川 161
宮地 158
平石 161
岩永 158
緒方 158
実松久 156

岩永（東女体大）
内川（神埼農高）
実松知（神埼農高）
迎（神埼農高）
平井（神埼農高）
三好（神埼農高）
大石（神埼農高）
西村（神埼農高）

三洋電機（岐阜）

K森 162
F古沢 160
下之段 151
中村 158
河合 148
稲垣 167
新垣 145

河合（大垣農高）
稲垣（大垣農高）
新垣（興南高）
川崎（芦北農林）
吉田（高千穂高）
赤井（米子南商）
小池（諫早商）
鳥谷部（七戸高）

サン電子（広島）

K平岡 162
F大玉 160
阿部 157
横山 160
村上 162
田中 161
三宅 163

村上（真備高）
大玉（真備高）
阿部（真備高）
横山（山陽女高）
平岡（山陽女高）
高橋（戸手商高）
宮本（川之石高）

徳山クラブ（山口）

K広林 163
F川口 161
深見 160
伊藤典 166
松井 160
赤岸 156
前田 161

赤岸（東女体大）
伊藤佳（徳山高）
久野（徳山高）
松田（徳山高）
藤井（徳山高）

東京学芸大（東京・関東学連）

K芳賀 162
F山田 156
斉藤（順）154
寺井 161
松田 157
白井 153
渡辺 158

斉藤典（浦和西高）
高橋（千葉東高）
山木（富山女子高）

山口大（山口・中四国学連）

K矢野 162
F宮崎 163
秋村 158
高木 159
森田 157
村田 156
吉田 155

大下（広高）
尾上（徳山高）

〆切り後到着分（順不同）

男・金沢市役所（石川）

K竹中 181
F北野 178
水野 169
金森 172
石野 173
八日市屋 181
橋本 175
（瀬藤 164）

なし

男・福島教員クラブ（福島）

K富田 172
F佐藤 181
上野 183
後藤 177
伊藤 166
菱沼 167
塩田 175

藍原（福島大）

男・東北学院大（宮城・東北学連）

K熊谷（泰）179
F鈴木 182
千葉 180
佐藤 169
佐々木（信）178
大友 175
門脇 169

熊谷（仙台商）
芳賀（仙台商）
佐々木（塩釜高）
加藤（塩釜高）
川名（古川工高）

男・自衛隊勝田（茨城）

K渡部 174
F高岡 178
額賀 166
藤枝 181
宮川 174
野高 170
増田 176

高橋（少年工科校）
池田（少年工科校）

男・熊本トヨタ（熊本）

K与縄 170
F秦 173
毛利 173
坂田 177
鶴島 161
永田 170
松崎 165

高崎（御船高）
広野（御船高）

男・慶応義塾大（東京・関東学連）

K加藤 178
F西村 172
浅野 181
勝地 175
草皆 173
保坂 175
野本 179

加藤（慶応高）
上西（慶応高）
大村（慶応高）
新谷（慶応高）
山本（修道高）
西（鎌倉学園）
橋本（一宮高）

男・北大（北海道・北海道学連）

K苅谷 184
F西野 173
奥村 171
安藤 174
作野 170
飯山 168
柿崎 178

川端（三国丘高）
門沢（仙台一高）
木村（五所ケ原高）
堀内（札幌北高）
増川（札幌北高）
渡辺（金沢二水高）
藤田（岡山朝日高）
荒川（栃木高）
竹内（岩内高）

ハンドボールタウン

HAND BALL TOWN

ハンドボールタウン

★全国教員養成大学研修会ことしも8月に

日本協会は、文部省後援による第3回全国教員養成大学研修会を今年も夏休みを利用して開くことになりました。

期日は8月12日〜15日（3泊4日）、会場は東京オリンピック記念青少年総合センタと東京教大グランド。参加資格は国公私立の教員養成大学（学部を含む）の男女学生。参加料一人四千円。研修期間中の宿泊費全額と旅費の普通乗車賃片道分を日本協会が負担。

問合わせは日本協会（〇三—四六七—七〇九七）

★第3回土曜の集いは19日です

日本協会普及指導部の月例企画「土曜の集い」も、3回目を迎えます。

6月19日午後5時から7時まで東京・青少年総合センター体育館（電・四六七—七二〇一）です。参加料一人100円。

会場は、京王帝都バスの新宿西口から渋谷東横前行き、渋谷西口から新宿京王百貨店行きで、いずれも「代々木5丁目下車」、2分。

地下鉄千代田線「代々木公園」下車、8分

小田急「参宮橋」下車、5分。

車利用のかたは、首都高速4号線代々木ランプが目印。

なお、第1回（4月）は141名（男94、女47）、第2回（5月）は104名（男79、女25）が参加、楽しい2時間でした。6月はあなたも!!

★大阪〝社会人〟リーグ

大阪社会人連盟が、町のチームを集めての対抗戦「大阪社会人リーグ」6〜8月の日程は次のとおりです。

・6月4日、18日午後6時20分から8時45分・大阪市立東淀川体育館（電・三二一—〇〇〇三）

・7月9日、16日　時間、場所は6月に同じ

・8月8日、15、16日大阪市中央体育館（電・九四一—五〇九六）

・8月11日　大阪市立東淀川体育館。時間は6月に同じ

★この欄をご自由にお使い下さい

市民ハンドボールの案内、「教室」の通知、資料をさがしていられるかたなど、編集委員会あてに文書でお寄せ下さい。

五輪アジア予選の審判をつとめて

IHF公認審判員　佐野　和夫

去る三月十五日から二十一日まで、台北市で行なわれたモントリオール・オリンピック男子アジア地区予選のレフェリーとして安藤純光氏（日本協会審判部長）とペアを組み参加して来ました。

本年一月の審判部合同会議の席で審査委員会より指名を受けましたが、とにかく日本の審判員が、IHFのノミネートをうけて国外での公式大会を担当できるのでは初めてであり、安藤部長を中心に今日までの審判部の方々の努力が少しづつでも実り始めている喜びと、海外に出ても日本の審判員は立派であったと評価されなければ今後の発展につながらないと思いさらに多数のハンドボール愛好者逆手諸君、協会関係者、現在コツコツと努力されているレフェリー諸兄の期待を裏切らぬようとも思い、特別あらたまった笛でなくとも、普段、私達が吹いている笛がふける様にと心掛けて、トレーニングして、参加しました。

大会はご承知の通り直前になってクェートが棄権したため、日本韓国、台湾の3国が各二試合づつのリーグ戦で行なわれ、審判は第3者的立ち場の欧州地域から西ドイツのペアが派遣され、それに日本からの私たちのペアで担当することになった。私たちは当然、韓国×台湾戦の二試合を担当するはずであったのが、IHFの指示でオープニングゲーム（韓国×台湾1回戦）は、西ドイツのフォークとロスマンス組が担当したため、私たちは1ゲームを受けもたされるだけとなった。誠に残念なことでした。



台湾×韓国2回戦・両国主将と挨拶をかわす佐野(右)，安藤両レフェリー(3月19日・台北)

さて、私たちは三月十四日朝九時羽田を発ち、十二時頃に台北市に到着、台湾協会関係者の歓迎を受け、大勢の人々の前で首にレイをかけられて、テレながらホテルに向った。その夜遅く、西ドイツのレフェリーのほかIHF事務総長のM・リンケンバーガー氏や、この大会の立ち合い人である渡辺和美氏。参加国の監督、コーチによる会議が行なわれ、ルールの確認、レフェリーの割当などが発表された。

言葉の問題も含めて、国際問正しい共通理解を得るのは時間がかかるものであり、深夜に及んだまた各国々の習慣などもあり、こんなときにも、耐え得る気力と体力が必要であると感じた。

ヨーロッパのレフェリーではスウェーデンのカールソン、オルソン組など第一人者のレフェリーぶりを何度か見るチャンスに恵まれかつてブルガリアの講習会でも、何組かの適切なレフェリングをしていたペアを見て学んだ記憶もあって、今回のフォーク・ロマンス組からは、特に得るようなものは無かった。ただ国際試合審判の経験が豊富であり、態度や行動は立派であったと思う。

すべてのゲームが一方的な展開となり、緊迫しエキサイトするような場面が無く、そのような局面を如何に本場のペアがうまく運行するか、といった〝期待〟は満たされなかった。

私達の担当した韓国×台湾2回戦も37—16と韓国の一方的なゲム展開であり、ゲーム運営上の支障レフェリングでの誤りも全く無く気分的にゆとりを持って判定できた。IHFのM・リンケンバーガー氏はじめ関係者からも「よかった」との批評を得たことは事実ですが、私達にとっては、全日本総合の笛に当る時の方がよほど緊張するものだと思っています。

とにかく1ゲームの担当ではありましたが、日本からの初参加の責任は果たせたと報告できることを喜んでおります。

今回を第一歩と考え、これからもどしどし若手審判員が育ち、国際舞台で活躍して欲しいと願い、今回の経験を活かし審判員育成のお役に立ちたいと思っています。

次代になう「韓国学生選抜」来日

10周年迎える日韓学生交流

女子は忠州工専

10周年を迎える日韓学生交流は、6月2日から8日まで韓国から男子学生選抜、女子（第5回）忠州工専両チームを招いて、全国各地で5試合を行う。

これまで来日チームは圧倒的に単独チームの多かった韓国学生界が、第1回(昭42)以来久々にピックアップチームを派遣してきたのが注目される。

男子は半数が1、2年生

「交流して10年目、記念すべき大会なので選抜軍を送る」という韓国協会から連絡が伝えられて以来、主催団体である全日本学連はもとより日本協会関係者も、その陣容に大きな関心を寄せていた。

徴兵などの関係で、もうひとつ社会人球界が伸び悩む韓国では、いぜん学生界がトップゾーンだ。

当然のことながら世界を狙うナショナルチームも、学生が中心となる。

勇名をはせていた車聖福、金成憲、李鍾七の成均館大トリオが今春卒業し、ナショナルの主力となるべき選手は、今回来日の顔ぶれのなかから育つ、とみるのが順当である。

はたして、来日メンバーは将来性豊かな新鋭が並んだ。

半数の7人が一、二年生。ある日本協会役員は「明きらかに〝モスクワ（次期五輪地）要員〟だ」とうなる。

今春2月、台北でのオリンピックアジア予選出場者は鄭亨均、崔炳章の円光コンビだけだが、張星淳、辛炳翼、洪満宜など韓国を代表する選手が揃っている。

攻守の中心は鄭と辛とみられ、鄭は、今春の予選で全日本から6点を奪い、辛は昨年、訪韓した全日本学生戦で10点をたたき出している強力シューター。

また、成均館の新星・張は高商時代から通算3度目の来日だがその成長ぶりが興味深い。

なお、昨夏の高校交流で大活躍し、オリンピック予選にも出場したほどの逸材・尹鍾沢（朝鮮大付高出、176cm、83kg）は、学生界に籍をおいていないのだろうか、今回のメンバーに名がみえない。

注目される李相玉のプレー

一方、5回目を迎える女子は忠州工専(忠州市)の単独。

昨夏の交流で、全日本学生は14—17で敗れており、特にナショナルプレイヤー・李相玉のシャープなプレーは光るものがある。

韓国女子界は、打倒日本への可能性は、男子よりも早いとみているようで、このところ、その意欲はいちだんと高まっている。

しかし高校、社会人の実力に比べて学生界は、本格的にスポーツへ取り組む者が少ないと伝えられ各大学のハンドボール部も部員集めに苦労しているようだ。

忠州工専も12人のフルエントリーが届けられているものの、そのまま来日するかどうか不安がある。

日本側も新しい力進出か

さて、迎えうつ日本勢は例年どおり、地元学連のピックアップチーム。

有望新人が、今年は多いと伝えられているだけに、韓国の若返り同よう、注目されるものがある。

第2戦の山口大会で徳山在住の学連OB（OG）が対戦するのは異色。

韓国チームは、6月1日午後3時40分、大韓航空301便で福岡国際空港着、帰国は10日午後5時30分羽田発、大韓航空001便の予定。

日程（男女各5戦）

▽第1戦（6月2日・福岡市民体育館）
女・17：30　対福岡県学生選抜
男・18：50　対福岡県学生選抜
▽第2戦（3日・徳山市体育館）
女・18：00　対徳山“学連OG”
男・19：10　対徳山“学連OB”
▽第3戦（5日・大阪市中央体育館）
女・13：30　対関西学生選抜
男・14：45　対関西学生選抜
▽第4戦（6日・愛知県体育館）
女・14：30　対東海学生選抜
男・15：50　対東海学生選抜
▽第5戦（8日・東京駒沢体育館）
女・15：30　対関東学生選抜
男・16：50　対関東学生選抜

来日韓国学生選手団

○……役　員……○

団長	朴　宗南	(47才)	大韓協会理事
総務	許　亨茂	(42)	同
審判員	李　峰一	(32)	同
男子監督	金　有善	(41)	
同コーチ	金　丘	(38)	
女子監督	金　容柱	(41)	
同コーチ	宋　明燮	(40)	

○……選　手……○

▽男子（韓国学生選抜）

・GK	林　圭夏	仁荷1年	186cm
	李　向傑	釜山3年	180
・FP	○鄭　亨均	円光4年	182
	○崔　炳章	円光3年	176
	崔　永寿	円光3年	174
	杜　晩均	円光3年	173
	張　星淳	成均館3年	184
	李　康皓	成均館1年	187
	金　光洙	成均館1年	177
	全　延彬	釜山2年	178
	崔　容煥	釜山2年	177
	辛　炳翼	清州4年	175
	洪　満宜	清州4年	168
	徐　順晩	仁荷1年	174

▽女子（忠州工専）

・GK	李　栄姫	2年	167cm
	李　春雨	2年	163
・FP	金　福順	2年	164
	呉　英愛	2年	161
	○李　相玉	2年	166
	李　順南	2年	160
	朴　炳賢	2年	160
	林　礼順	2年	170
	李　性淑	2年	156
	金　栄淑	2年	164
	崔　洋淑	2年	165
	羅　明淑	2年	162

（注）男子○印は今春のモントリオールアジア予選韓国代表
・女子○印は昨春の世界女子アジア予選韓国代表

AHF問題、会長に一任

【速報】日本協会は、5月23日の全国理事会（東京）で、AHF（アジアハンドボール連盟）問題について、荒川理事長などから報告を聞いたのち協議、加盟問題をふくめて、今後の動きに対しては、いっさい会長、理事長一任となった。

AHFは、その後、際立った動きは示していない。

東海学生春季リーグ

名城と中京女が優勝

東海学生春季リーグ戦は春の学生リーグのトップを飾って4月1日から5月3日までの9日間、名古屋市体育館に男子1部6、2部9、女子4校が参加して行われた。

男子は、今季も名城と中京が力強い攻守で他の4校を連破、最終戦で対決したが、後半、動きに鋭さのでた名城が、一気に相手守備陣をつぶして大量リード、2シーズンぶり、通算3度目の優勝を飾った。

同2部は、首位決定リーグで南山が接戦を切り抜け、通算4度目の優勝を決めた。

女子は、中京女がライバルの中京をおさえ、2シーズンぶり5度目の優勝。

▽男子1部

名　城 22（14−4 8−2）6 岐阜大
名　城 28（12−5 16−2）7 名　大
中　京 29（12−5 17−3）8 滋賀大
中　京 24（12−7 12−3）10 名　大
名　城 38（21−6 17−5）11 滋賀大
愛知教大 20（10−3 10−3）6 滋賀大
愛知教大 14（7−6 7−8）14 岐阜大
引き分け
中　京 27（18−7 9−7）14 愛知教大
岐阜大 15（10−6 5−6）12 名　大
中　京 24（14−4 10−5）9 岐阜大
名　大 17（8−5 9−11）16 滋賀大
名　城 33（17−2 16−5）7 愛知教大
岐阜大 22（11−5 11−7）12 滋賀大
愛知教大 24（11−7 13−7）14 名　大
名　城 15（13−5 2−4）9 中　京

得	【中京】		【名城】	得
0	川上	GK	木村	0
0	平見	GK	松井	0
2	村上	EP	西尾	0
0	西脇	EP	高橋	3
1	小島	EP	西浜	2
0	木村	EP	谷元	2
0	新子	EP	平山	0
0	高田	EP	山下	0
0	安藤	EP	鈴木康	3
1	宮尾	EP	鈴木輝	1
5	中野	EP	安藤	4
0	吉本	EP	瀬島	0
9	（3）	PT	（0）	15

（審　川島　角）

○……前半は両校ともまったく動きが鈍く、とてもハンドボールとは云えぬ低調な展開であった。

後半になって、ようやく名城の動きに流れがみえ、前半の劣勢をはね返したあと一気に逆転、15分11−6と差を開いた。

中京は攻撃が単調で、終盤はPTの3点だけという拙攻だった。

全勝同士、ライバルの対戦にしては、見るべきものの少ない凡戦でスタンドを落たんさせた。

（横井）

【順位】①名城5戦全勝②中京4勝1敗③愛知教大・岐阜大2勝1分2敗⑤名古屋大1勝4敗⑥滋賀大5敗

【個人得点5傑】①村上（中京）36②高橋（名城）34③楠田（滋賀大）32④谷元（名城）31⑤藤井（岐阜大）27

▽同2部予選リーグA組

三重大 15−14 名古屋学院
名工大 17−16 三重大
名工大 23−13 名古屋学院

▽同B組

愛大豊橋 13−12 静岡大
静岡大 12（分）12 中部工大
愛大豊橋 15−10 中部工大

▽同C組

南　山 18−15 愛大名古屋
愛大名古屋 21−17 愛知学院
南　山 25−10 愛知学院

▽同7〜9位決定リーグ

中部工大 14−9 名古屋学院
愛知学院 16−11 中部工大
名古屋学院 17（分）17 愛知学院

【順位】⑦愛知学院⑧中部工大⑨名古屋学院

▽同4〜6位決定リーグ

静岡大 15−6 三重大
愛大名古屋 16−12 静岡大
愛大名古屋 27−13 三重大

【順位】④愛大名古屋⑤静岡大⑥三重大

▽同1〜3位決定リーグ

愛大豊橋 20（9−10 11−7）17 名工大
南　山 15（7−7 8−4）11 愛大豊橋
南　山 63（7−7 6−4）11 名工大

【順位】①南山②愛大豊橋③名工大

▽1・2部入れ替え戦

名大（1部⑤）18（6−8 12−2）10 愛大豊橋（2部②）
滋賀大（1部⑥）15（1−0 1−1 … 8−6 5−7）14 南山（2部①）

中京、愛教大と分ける

▽女子

中　京 11（7−6 4−5）11 愛知教大
引き分け
中京女 11（6−0 5−1）1 岐阜大
中京女 9（5−3 4−3）6 愛知教大
中　京 12（5−1 7−1）2 岐阜大
中京女 7（3−2 4−2）4 中　京
愛知教大 7（4−2 3−0）2 岐阜大

【順位】①中京女3戦全勝②中京・愛知教大1勝1分1敗④岐阜大3敗

【個人得点5傑】①今木（中京）8、②窪田（中京女）、久家（中京女）、芦野（中京）7、⑤鈴木（愛教大）、藤井（愛教大）、大塚（愛教大）6

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

株式会社　東口電機製作所
社長　東口武雄
奈良市二名町 2603
TEL 0742—44—6161

中川石油株式会社
〒020 盛岡市菜園1丁目7番17号
電話（0196）23—(代)3241

医薬品並に健康関連総合商社
（株）小田島
本社　花巻市上町6—5　〒025 TEL01982-3-5162(代)
営業所　花巻，盛岡，水沢，一関，大船渡，釜石，宮古，久慈，青森，八戸，弘前，むつ，仙台，石巻，古川，気仙沼，秋田，大館，横手

総合ファッションメーカー
株式会社　ワコール
取締役社長　塚本幸一
東京・大阪・京都・名古屋・福岡・札幌

コロナとマークⅡの
岩手トヨペット
本社　盛岡市上田2丁目　TEL(51)3211（代）

株式会社　久保田鉄工
代表者　久保田広一
八尾市南本町四丁目九番一九号
TEL0729—23—0292

城戸茂太

東海溶材株式会社
本社　清水市北脇242
支店　浜松市下石田町1743の1
営業所　小山，東京，相模原，三島，富士，三保，焼津，大井川，掛川，豊田，名古屋，四日市，大阪，富山，広島

株式会社　横山商店
横山豊
（第3回インターハイ準優勝清水商高主将）
清水市渋川468　TEL0543—45—3482

アサヒスポーツ
福井市松本3丁目4—2
TEL 0776—23—2555

広島県ハンドボール協会長
川上病院
広島市曙町2～33
TEL0822—61—3782

富士重工指定スバルサービス工場
（有）野田商会
野田勉
（第9回インターハイ優勝清水商高選手）
清水市万世町1丁目69　TEL0542—52—6750(代)

学生衣料製造卸
株式会社　島屋
高岡市間屋町41

北陸電力株式会社
福井支店
福井市日之出1丁目4番1号 〒910
電話（0776）㉓1212番（代表）

屋内外電気工事設計施工
火災報知機設備施工
伊藤電機設備株式会社
代表取締役　伊藤仁和
福井市順化2丁目2番1号 〒910
TEL 営業部(0776)22-7800(代) 工事部21-2266(代)

ヨーロッパの味
タキザワハム
取締役社長　滝沢武

ブリヂストンタイヤ（株）彦根工場
〒522-02
滋賀県彦根市高宮町211番地
TEL (07492) 2-8111 代表

不動産の　カントラ　大阪・堺
TEL 0722—33—0003
0722—22—2103
フドウサン

下関中央工、6年ぶり

中国高校

第27回中国高校選手権は、例年どおりブロック高校選手権のトップを切って5月9、10日の2日間広島・広高校球技場に5県の男女代表各16校が参加して行われた。

男子決勝は、昨年同よう下関中央工×岩国工（ともに山口）の顔合せとなり下関が雪じょく、6年ぶり7度目の優勝を飾った。山口代表の優勝は4年連続20度目。

女子は、過去8度優勝を誇る山陽女(広島)が、1回戦で敗れるなど波乱ぶくみだったが、結局、徳山×岩国商の山口同士の決勝で、徳山が後半逆転勝ち、3年ぶり5度目の優勝を遂げた。山口代表の優勝は3年ぶり8度目。

▽男子1回戦
下関中央工(山)23―7修　道(広)
天　城(岡)8―2倉吉工(鳥)
児　島(岡)13―10米子東(鳥)
呉　工(広)24―9松江農林(島)
倉　敷　工(岡)27―10飯　南(島)
徳　山　工(山)18―8三　原　工(広)
山　陽(広)26―8浜田水産(島)
岩　国　工(山)24―3境　港　工(鳥)
▽同準々決勝
下関中央工32―11天　城
呉　工17―6児　島
徳　山　工15―11倉　敷　工
岩　国　工15―8山　陽
▽同準決勝
岩　国　工16(7―7 9―1)8徳　山　工
下関中央工22(8―1 14―6)7呉　工
▽同決勝
下関中央工14(8―4 6―7)11岩　国　工
▽女子1回戦
広島第一女商13―4真　備(岡)
米子南商(鳥)7―2松江市女(島)
浜　田　商(島)22―2西大寺(岡)
岩　国　商(山)7―2進徳女(広)
山口中央(山)6―5山陽女(広)
松江家政(島)10―9金　川(岡)
津　山　商(岡)10―2呉豊栄(広)
徳　山(山)17―0倉吉西(鳥)
▽同準々決勝
広島第一女商6―4米子南商
岩　国　商16―5浜　田　商
山口中央14―1松江家政
徳　山13―1津　山　商
▽同準決勝
岩　国　商11(6―1 5―6)7広島第一女商
徳　山12(5―5 7―4)9山口中央
▽同決勝
徳　山8(2―3 6―3)6岩　国　商

各地の記録

小松市女が12連勝

▼石川県高校女子春季大会（4月金沢美大体育館）
▽準々決勝
金　沢　商7―2津　幡
小松市女17―9北陸大谷
星　稜7―4宝　達
松　任9―8小　松　商
▽準決勝
小松市女16―2金　沢　商
松　任13―6星　稜
▽同決勝
小松市女21(8―0 13―1)1松　任

飯南、浜田水産おびやかす

▼島根県高校大会（4月、浜田商高）
▽男子予選リーグA組
松　江　工20―17松　江　南
浜田水産20―12松　江　工
松　江　南14―11浜田水産
▽同B組
飯　南18―12松　江　農
飯　南31―4羽　須　美
松　江　農23―10羽　須　美
▽同3・4位決定戦
松　江　農13(延)11松　江　南
▽同決勝
浜田水産18(8―7 10―10)17飯　南
▽女子決勝リーグ
浜　田　商30―12松　江　農
松江市女16―5松　江　南
松江家政23―2松　江　農
松江家政19―3松　江　南
浜　田　商28―3松江市女
松江家政14―8松江市女
浜　田　商23―2松　江　南
松江市女11―5松　江　農
浜　田　商19―7松江家政
松　江　南9―5松　江　農
【順位】①浜田商4戦全勝②松江家政3勝1敗③松江市女④松江南⑤松江農

江南、圧倒的な強さ

▼新潟県高校大会（4月、巻高）
▽男子1回戦（1試合）
巻17―8新潟明訓
▽同準決勝
柏　崎9―8中　越
柏　崎　工24―5巻
▽同決勝
柏　崎　工21(12―2 9―4)6柏　崎
▽女子決勝リーグ
巻8―1新潟明訓
江　南17―1新潟明訓
江　南12―2巻
【順位】①江南②巻③新潟明訓

▼第30回京都高校春季大会（4月乙訓高）
▽男子準決勝
東　山16―6嵯峨野
洛　北16―10洛　東
▽同決勝
東　山12(5―3 7―6)9洛　北
▽女子準決勝
乙　訓7―1東宇治
西　京　商11―3洛　東
▽同決勝
西　京　商6(2―0 4―3)3乙　訓

男子は学生勢が上位

▼宮城県総合選手権（5月・仙台一高）

▽男子準々決勝
東北学院大 12—0 育英高
東北工大 12—8 仙台大OB
東北大 16—9 塩釜高
仙台大 16—9 古川高

▽同準決勝
東北学院大 25—11 東北工大
東北大 19—13 仙台大

▽同決勝
東北学院大 28（14—9, 14—4）13 東北大

▽女子準々決勝
飯野川高 15—4 宮城三女高
古川商高 11—3 祇園寺高
涌谷高 16—1 一迫商
古川女高 10—6 宮城二女高

▽同準決勝
涌谷高 10—3 飯野川高
古川女高 8—5 古川高

▽同決勝
涌谷高 15（9—0, 6—1）1 古川女高

トヨタ車体が2度目

▼第36回愛知県実業団リーグ（4月・名古屋市体育館）

▽男子1部
新日鉄名古屋 12—3 ブラザー工業
トヨタ車体 29—5 日本碍子
新日鉄名古屋 17—7 トヨタ自工
トヨタ車体 18—7 新日鉄名古屋
トヨタ車体 21—3 トヨタ自工
ブラザー工業 14—11 日本碍子
ブラザー工業 7（分）7 トヨタ自工
新日鉄名古屋 15—12 日本碍子
トヨタ車体 15—4 ブラザー工業
トヨタ自工 15—11 日本碍子

【順位】①トヨタ車体4戦全勝＝2度目の優勝②新日鉄名古屋3勝1敗③ブラザー工業・トヨタ自工1勝1分2敗④日本碍子4敗⑤自衛隊春日井（棄権）

▽2部7・8位決定戦
中部電力 20—12 トーメン

▽同5・6位決定戦
豊田工機 11—8 三菱重工

▽同3・4位決定戦
豊田合成 18—4 パイロット

▽同首位決定戦
大同製鋼高蔵 21—6 豊田自織

▽同1・2部入れ替え戦
大同製鋼高蔵（2部）12—0 自衛隊春日井（1部）

▽女子（2回戦制）
ブラザー工業 23—0 豊田工機
ブラザー工業 19—2 豊田工機

津山勢強味みせる

▼第31回岡山県高校優勝大会（4月、操山高）

▽男子準々決勝
倉敷商 14—11 倉敷工
津山工 12—9 邑久
岡山工 14—12 児島
高梁工 14—8 天城

▽同準決勝
岡山工 19—12 高梁工
津山工 12—11 倉敷商

▽同決勝
津山工 17（10—6, 7—3）9 岡山工

▽女子準々決勝
津山商 17—1 倉敷中央
操山 7—4 西大寺
真備 5—2 津山
金川 12—2 岡山女

▽同準決勝
津山商 18—4 操山
金川 5—4 真備

▽同決勝
津山商 3（2—0, 1—1）1 金川

男子で稲門会2連勝

▼第5回東京都クラブリーグ決勝トーナメント（4月、板橋高）

▽男子準々決勝
大崎愛好会 26—15 神代ク
稲門会 17—13 井草ク
府中ク 22—8 S・K・C
住友ク 15—7 早苗ク

▽同準決勝
稲門会 20—12 大崎愛好会
住友ク 18—12 府中ク

▽同決勝
稲門会 26—15 住友ク

▽女子決勝
全学芸 20—5 小平OG

尾鷲と津女子勝つ

▼三重県春季高校大会（4月、津女高）

▽男子準々決勝
尾鷲 19—7 亀山
桑名西 21—7 高田
四日市 32—3 海星
四日市工 20—10 津工

▽同準決勝
尾鷲 13—8 桑名西
四日市工 24—8 四日市

▽同決勝
尾鷲 18（11—6, 7—9）15 四日市工

▽女子準々決勝
津女子 15—4 菰野
四日市商 12—0 尾鷲
四日市 15—1 上野商
暁 不戦勝 上野

▽同準決勝
津女子 11—3 四日市商
四日市 8—4 暁

▽同決勝
津女子 9（5—3, 4—1）4 四日市

一般は本田技研が順当

▼三重県一般男子春季大会（4月亀山商）

▽準々決勝
日本合成ゴム 23—19 高田ク
本田技研 36—16 三菱油化
本田技研B 29—21 本田爽風会
三重教員 37—10 明野航空学校

▽準決勝
本田技研 棄権 日本合成ゴム
三重教員 16—12 本田技研B

▽決勝
本田技研 37（18—5, 19—5）10 三重教員

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一四二号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
[illegible]和五一年五月二十五日印刷 昭和五一年六月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京[illegible]区神南一−一−一
電話 大代表(467)三二一一
振替 東京五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価二百八十円
(年間購読料二千七百円)